



OKURA

2021年12月期 第2四半期決算説明資料



大倉工業株式会社

2021年8月25日

代表取締役社長執行役員
神田 進

CONTENTS

- 01. 当社概要
- 02. 第2四半期連結決算の概要
- 03. 通期の業績予想
- 04. サステナビリティの推進
- 05. 参考資料



**要素技術を通じて、新たな価値を創造し、
お客様から選ばれるソリューションパートナー**
～ お客様の価値向上と社会課題の解決に貢献し、
事業を通じて、社会・環境価値を創出する～

当社概要

1



| | | | |
|-------|------------------------------------|----------------|-------------|
| 証券コード | 4221(東証1部) | 業種 | 化学 |
| 社名 | 大倉工業株式会社 Okura Industrial Co.,Ltd. | | |
| 本社所在地 | 香川県丸亀市中津町1515番地 | | |
| 代表者 | 代表取締役社長執行役員 神田 進 | | |
| 設立 | 1947年7月11日 | | |
| 資本金 | 86億1千9百万円 | | |
| 従業員数 | 2,004名(連結)、1,060名(単体) | | |
| 売上高 | 809億円(2020年12月期、連結) | | |
| 事業所 | 営業拠点 6拠点、製造拠点 5拠点 | | |
| 子会社 | 連結子会社〔国内:12社、海外:1社〕 | | |
| | (株)関西オークラ、 | (株)関東オークラ、 | (株)九州オークラ、 |
| | (株)埼玉オークラ、 | (株)オークラプロダクツ、 | オークラホテル(株)、 |
| | (株)オークラプレカットシステム、 | オークラ情報システム(株)、 | (株)オークラハウス、 |
| | (株)ユニオン・グラビア、 | (株)オークラパック香川、 | (株)カントウ、 |
| | 無錫大倉包装材料有限公司 | | |
| | 非連結子会社 1社 大倉産業(株) | | |

【2021年6月末現在】

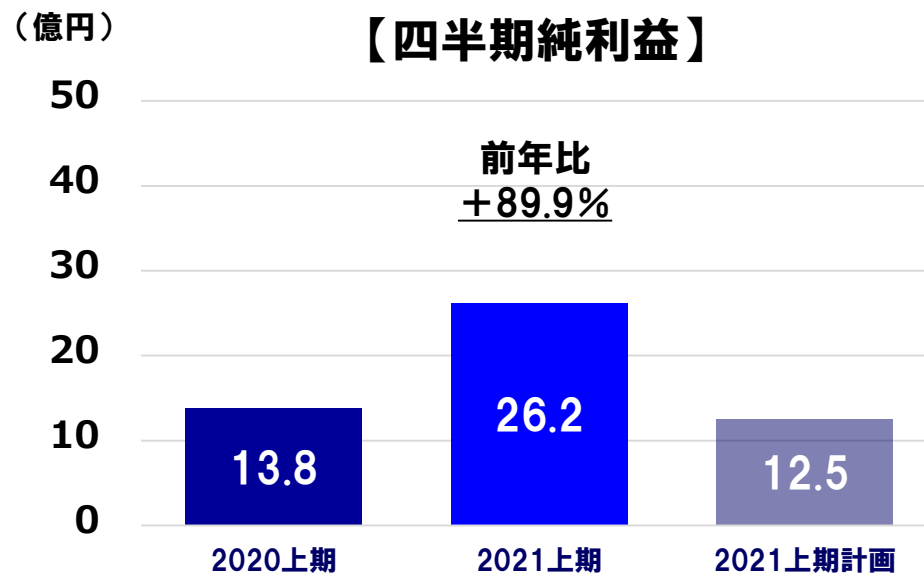
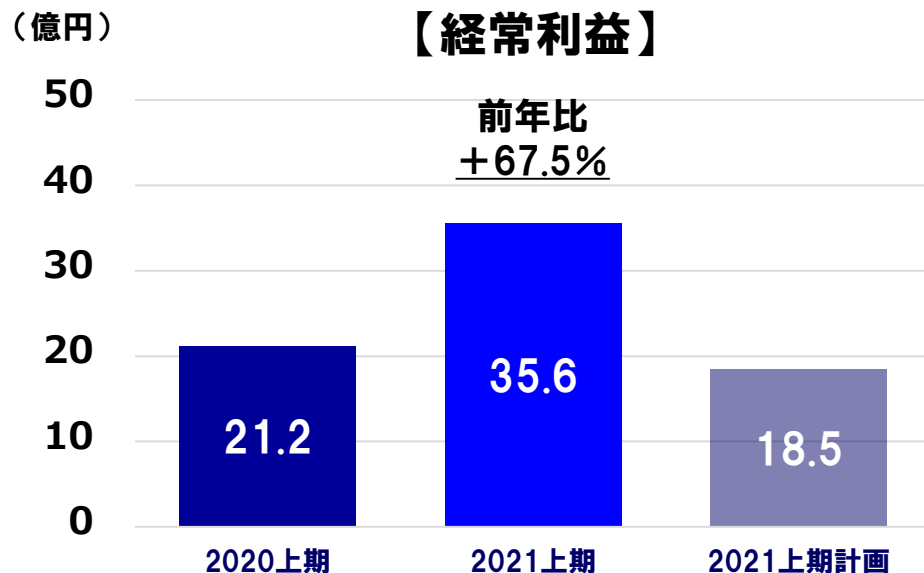
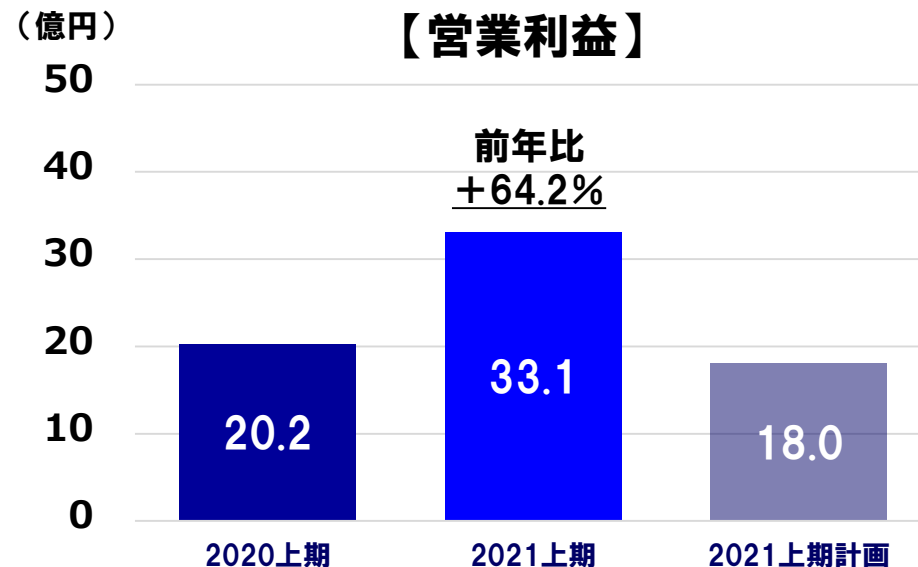
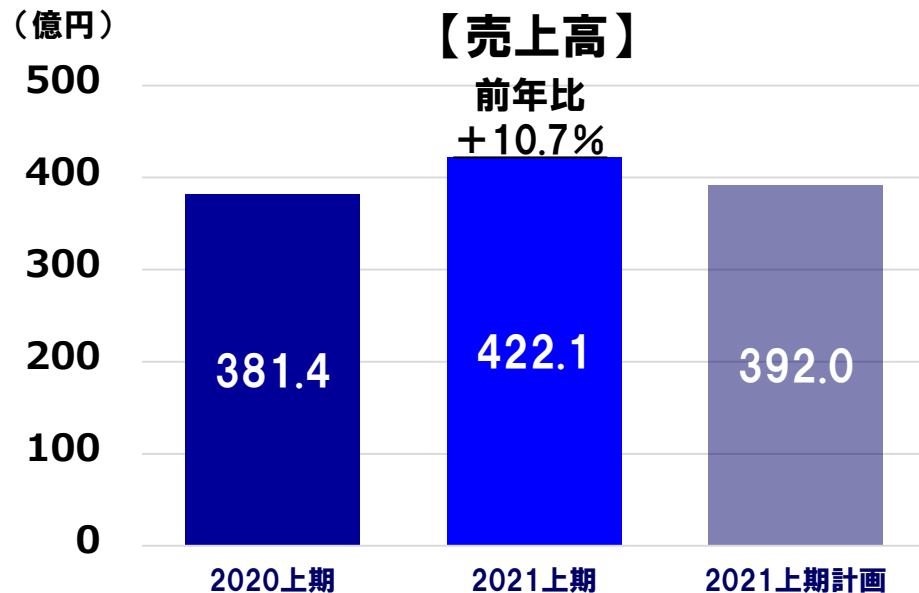
| 事業セグメント | ビジネスユニット | 主な製品／子会社名 | 2020年 売上高 構成比 |
|---------|------------|---------------------------|---------------------|
| 合成樹脂事業 | パッケージングBU | | 57.4% |
| | シュリンクフィルム | 乳酸菌飲料集積用、カップ麺等の包装フィルム | |
| | 軟包材 | 洗剤等の詰替え用パウチ袋、食品用ラミネートフィルム | |
| | リキッドパック | ミネラルウォーター・調味液等の液体包装容器 | |
| | 産業資材BU | 工業・電子材料用保護フィルム | |
| | 一般包材BU | 規格袋、日用品・食品用パッケージフィルム | |
| | アグリマテリアルBU | 農業用の機能性フィルム | |
| 新規材料事業 | 機能材料BU | ウレタンフィルム、シームレスベルト、アクリル接着剤 | 28.9% |
| | 電子材料BU | 光学フィルム(加工)、プロジェクター部材 | |
| | 光学材料BU | 光学フィルム(製膜・延伸) | |
| 建材事業 | パーティクルボード | パーティクルボード素板 | 7.7% |
| | 住環境 | パーティクルボード等の二次加工品 | |
| その他関連事業 | ホテル事業 | オークラホテル株式会社 | 5.9% |
| | 情報処理事業 | オークラ情報システム株式会社 | |
| | 住宅事業 | 株式会社オークラハウス | |
| | プレカット事業 | 株式会社オークラプレカットシステム | |

詳細内容は40ページ以降に記載の「参考資料」をご参照ください。

第2四半期連結決算の概要

2

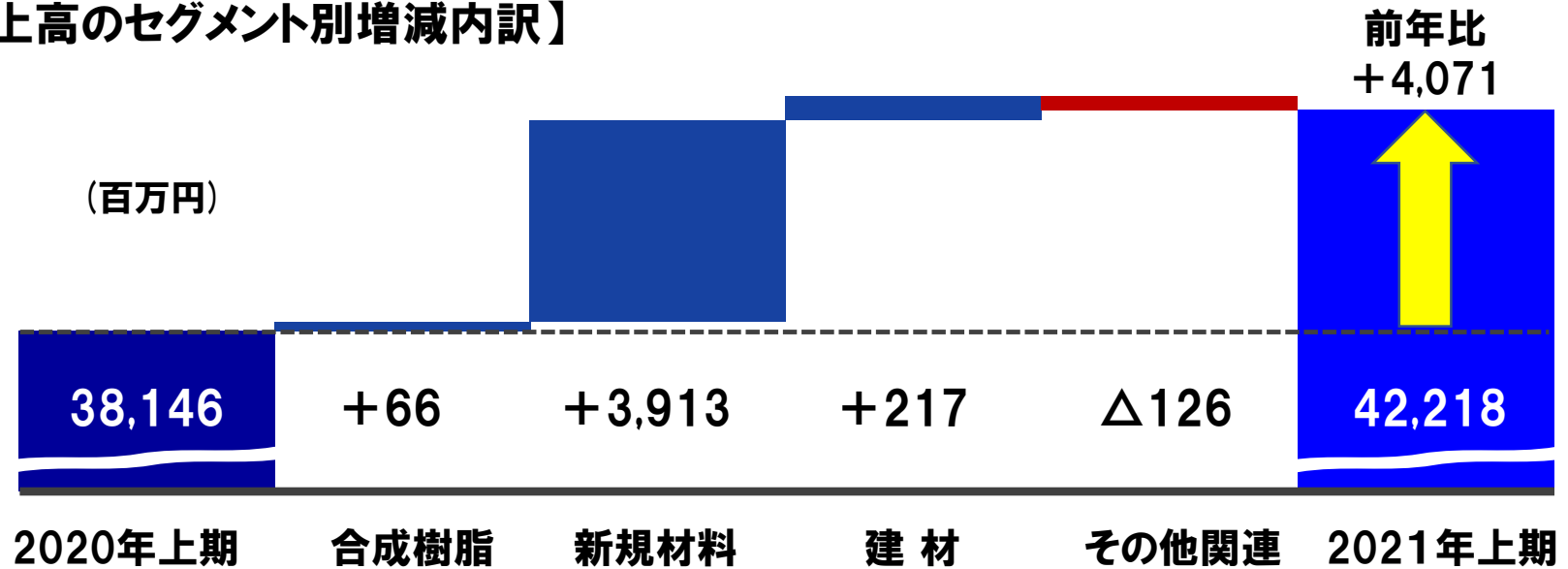
02-1 第2四半期累計期間 連結業績



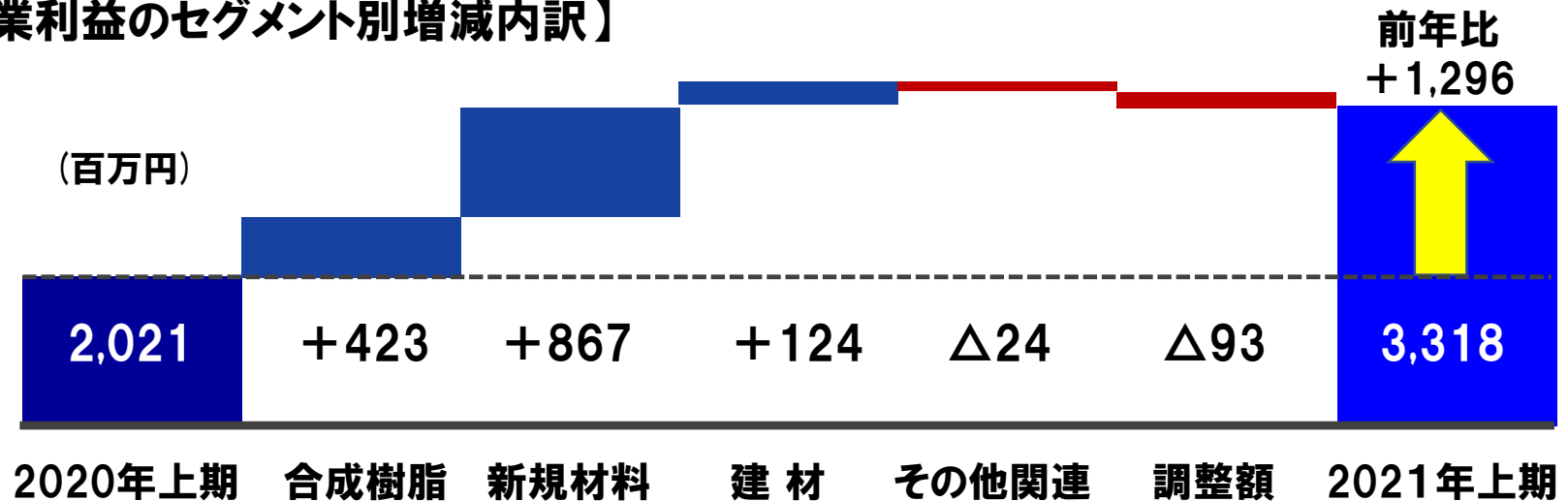
| | | |
|-----------------------|--|--|
| <p>合成樹脂事業</p> | <p>需要増 ↑</p> <ul style="list-style-type: none"> ・自動車、工業用途は回復 ・内食用途は堅調 | <p>需要減 ↓</p> <ul style="list-style-type: none"> ・外食用途は低迷 ・インバウンド需要がなくなり、おむつ外装用は苦戦 |
| <p>新規材料事業</p> | <p>需要増 ↑</p> <ul style="list-style-type: none"> ・大型テレビ用光学フィルムは好調 ・自動車、OA機器用途は回復 | |
| <p>建材事業</p> | <p>需要増 ↑</p> <ul style="list-style-type: none"> ・リフォーム需要が堅調 ・東南アジアのロックダウンの影響で輸入基材代替品が増加 | <p>需要減 ↓</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ウッドショックによる木材調達難で住宅着工に遅れ |
| <p>その他関連事業</p> | | <p>需要減 ↓</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ホテル事業は宿泊、宴会が引き続き低迷 |

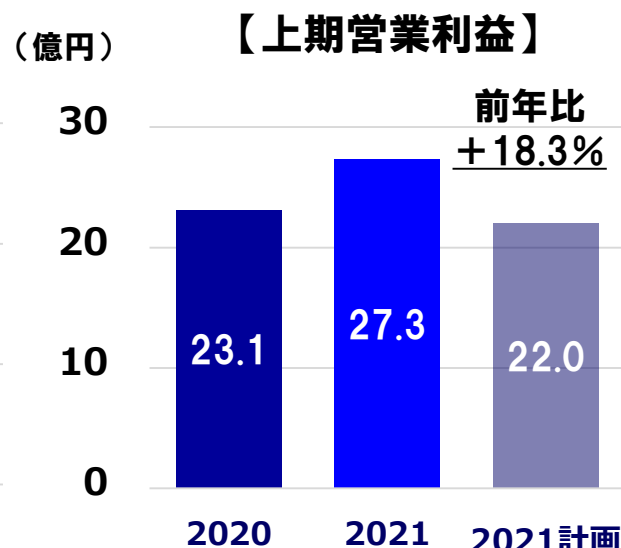
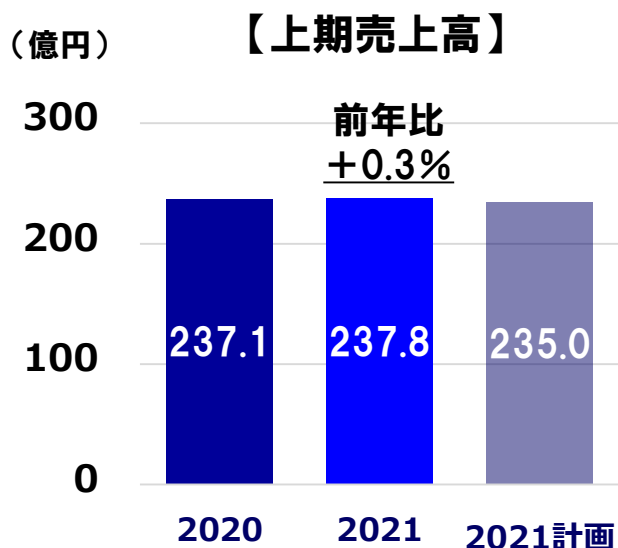
02-2 セグメント別増減

【売上高のセグメント別増減内訳】



【営業利益のセグメント別増減内訳】





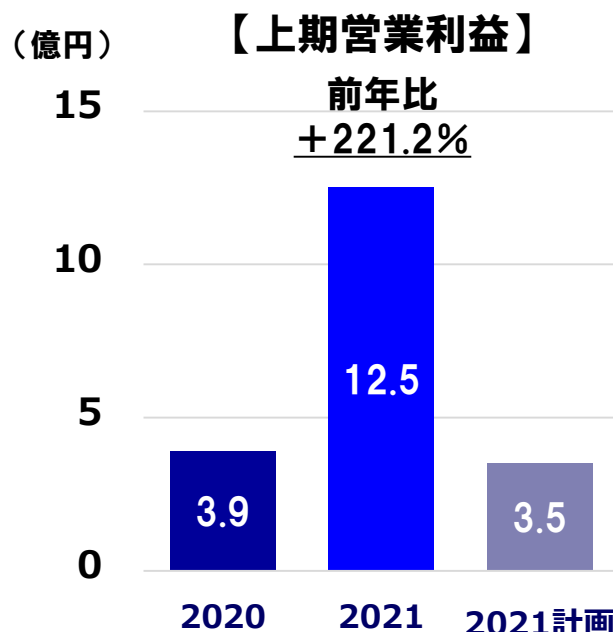
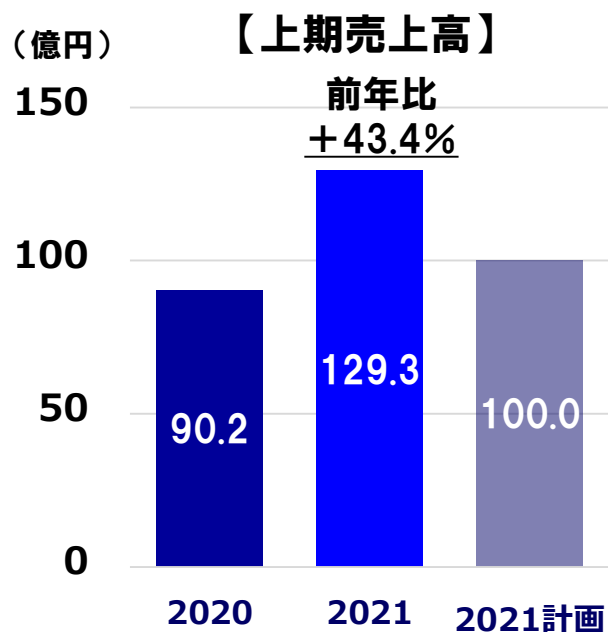
- ▶ 自動車及びプリント基盤用フィルムの需要が回復。LIB用タブテープが増加。
- ▶ 機能性フィルムと環境対応製品を拡販し、農業用フィルムの販売が増加。
- ▶ おむつ外装向けが減少、レジ袋メーカーの参入等、競争激化により、ごみ袋の販売が減少。
- ▶ 原材料価格は上昇しているものの付加価値の高い製品の販売数量が増加。

| 製品別売上高 | 2021年上期 (百万円) | 前年比 |
|--------------|------------------|--------|
| パッケージング B U | 8,892 | △0.2% |
| シュリンクフィルム | 4,605 | △0.1% |
| 軟包材 | 3,428 | △3.0% |
| リキッドパック | 858 | +11.5% |
| 産業機能材 B U | 3,102 | +12.2% |
| 一般包材 B U | 8,637 | △5.8% |
| アグリマテリアル B U | 2,713 | +6.9% |
| その他 | 435 | +31.1% |
| 合計 | 23,782 | +0.3% |



農業用生分解性マルチフィルム
「エコローム®こかげ」

夢がある。技術がある。未来ができる。



機能材料

在宅勤務・在宅学習が広がり、OA機器用部材が増加。

自動車用途を始め、モーター関連を中心に接着剤が増加。

光学フィルム

大型液晶パネル向け光学フィルム及びスマートフォン向け製品が引き続き好調。

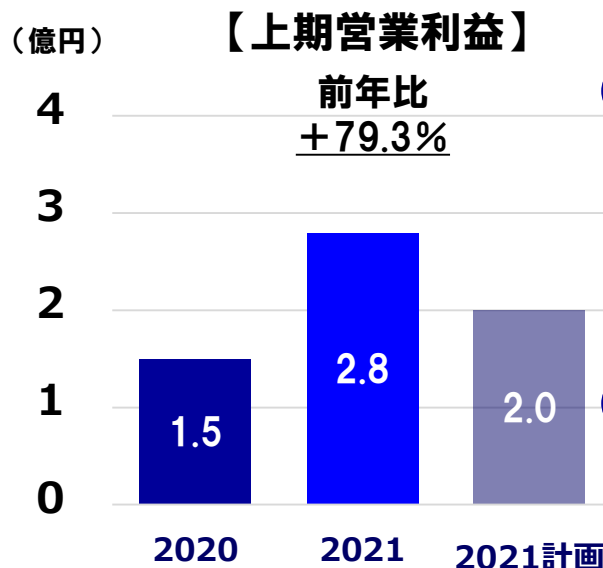
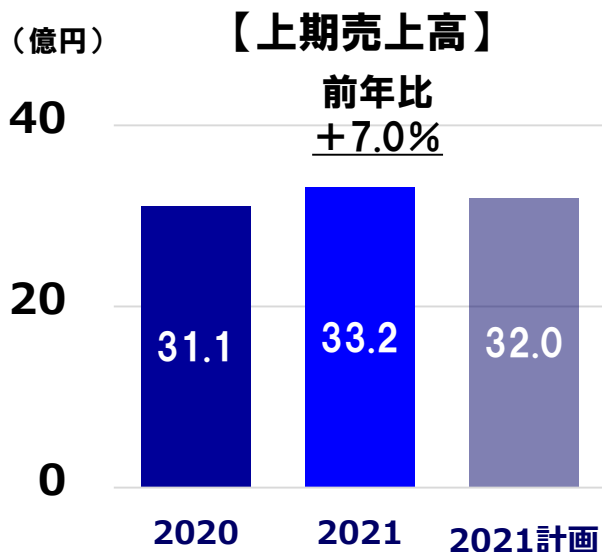
| BU別売上高 | | | | | 2021年上期 (百万円) | 前年比 |
|--------|---|---|---|----|------------------|--------|
| 機 | 能 | 材 | 料 | BU | 1,315 | +12.4% |
| 電 | 子 | 材 | 料 | BU | 7,494 | +91.9% |
| 光 | 学 | 材 | 料 | BU | 3,365 | +28.8% |
| 商 | 品 | | | 他 | 758 | △43.0% |
| 合 | | | | 計 | 12,934 | +43.4% |



無溶剤型アクリル接着剤



光学フィルム



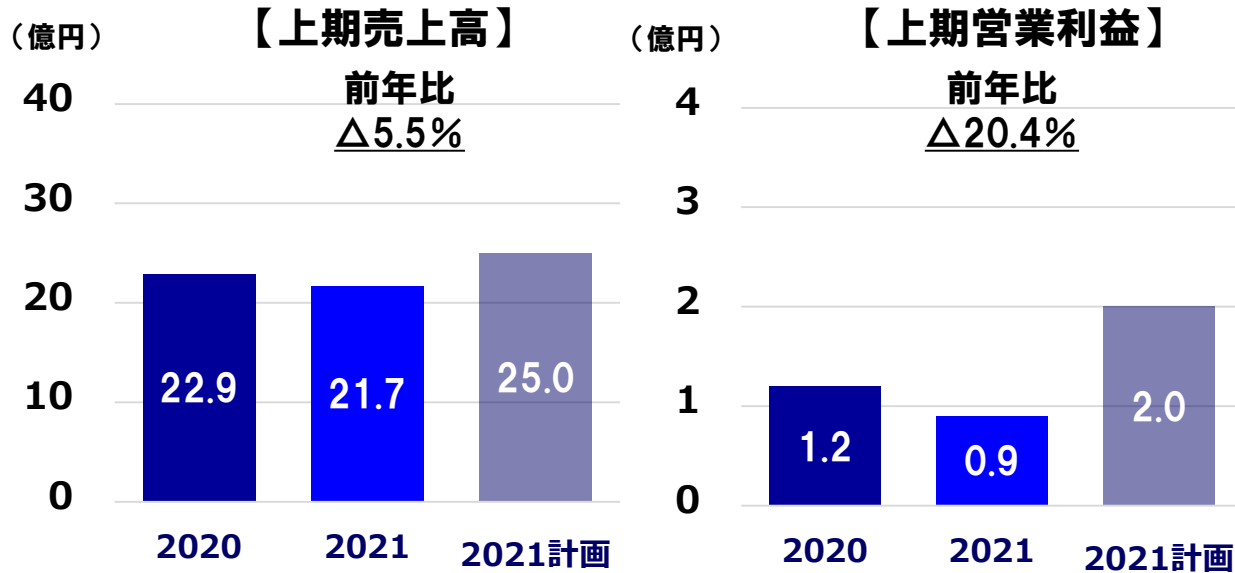
▶ **パーティクルボード素板、住環境製品**
 リフォーム需要の増加により、キッチン等の水回り関連用途が好調。
 東南アジアのロックダウンにより、輸入代替品の販売が増加。

▶ **フロア関連製品**
 新設住宅着工戸数が低調で販売が減少。

| 製品別売上高 | 2021年上期 (百万円) | 前年比 |
|--------------------|------------------|--------------|
| パーティクルボード素板 | 1,711 | +11.3% |
| パーティクルボードフロア | 883 | △2.4% |
| 住環境(建装材、商品を含む) | 734 | +10.0% |
| (内、パーティクルボード基材加工品) | (510) | (+6.9%) |
| 合計 | 3,328 | +7.0% |



住宅設備機器



- ▶ **ホテル事業**
コロナ影響により、宿泊や宴会の低迷が続く。岡山ビジネスホテルの土地建物を売却。
- ▶ **情報処理事業**
調剤薬局向け調剤鑑査システムの販売が堅調。
- ▶ **住宅・プレカト事業**
ウッドショックの影響を受けるも売上は前年並み。

| 事業別売上高 | 2021年上期 (百万円) | 前年比 |
|-----------|------------------|----------------------------------|
| ホテル事業 | 104 | $\Delta 55.1\%$ |
| 情報処理事業 | 646 | +10.5% |
| 住宅事業 | 434 | +4.9% |
| プレカト事業 | 1,256 | $\Delta 0.1\%$ |
| 賃貸事業 | 328 | $\Delta 11.8\%$ |
| 消去・組替 | $\Delta 598$ | — |
| 合計 | 2,172 | $\Delta 5.5\%$ |



オークラハウスの
ゼロエネルギーハウス(ZEH)



オークラプレカトシステム
非住宅物件(保育園)

夢がある。技術がある。未来ができる。

合成樹脂事業の環境貢献製品の状況

2021年上期売上高 **4,028百万円** (前年比+7.5%)

合成樹脂事業の売上高に占める比率: 2020年上期15.8% ⇒ 2021年上期**16.9%**

脱化石燃料製品

農業用生分解性マルチフィルム
「エコローム®こかげ」

マルチフィルムを微生物が分解するため、
収穫後のフィルム回収が不要。



バイオマスシュリンクフィルムシリーズ

- ①PO系多層シュリンク「ラプラー®バイオ」
- ②LDPEシュリンク「パワーシュリンクバイオ」
- ③HDPEシュリンク「CSシュリンクバイオ」



自治体向けバイオマス ごみ袋



フードロス削減

エコラップ®G、エコラップ®BSS-V2

トレーガスパック包装で食品の
消費期限を延長



プラスチック減量化

詰替え用パウチ袋

ボトル容器よりプラスチックを減量化



環境負荷低減型マルチ「省之助」

通常マルチを薄膜化し、厚みを40%カット
1,000mの長尺巻きを実現



環境汚染防止

ガスバリアマルチ「祐作」

農薬を閉じ込め、環境リスクを低減



【R&Dセンター、合成樹脂事業】

トヨタ自動車の新型MIRAIに当社製品が搭載

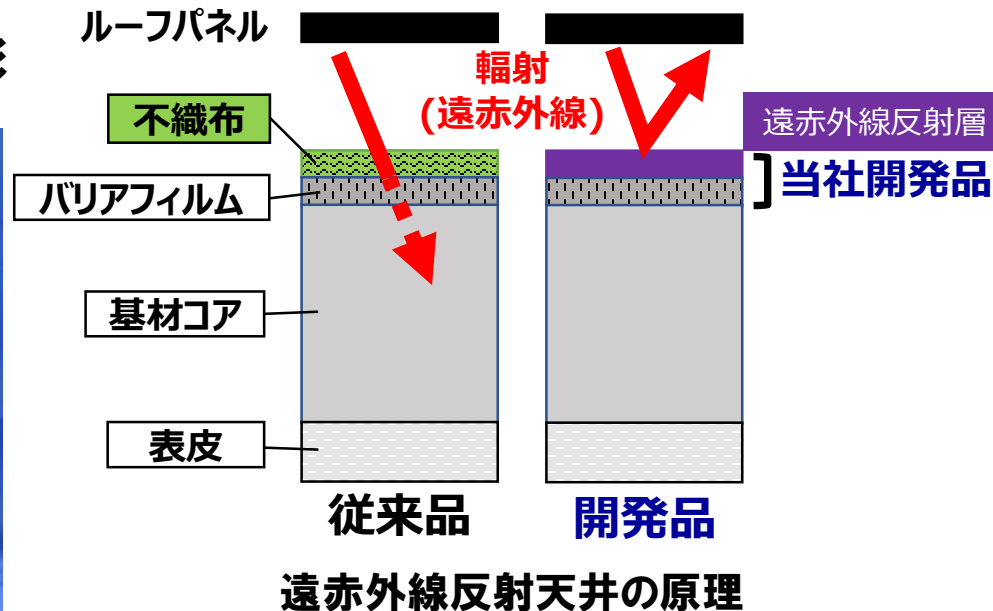
- 当社とトヨタ紡織株式会社で共同開発した **遠赤外線反射フィルム**を使用した遠赤外線反射天井がトヨタ自動車の燃料電池自動車の新型MIRAIに搭載。
- 夏季、室内への入熱を抑制し、エアコンへの負荷を軽減して実用燃費の低減に貢献。
- トヨタ自動車株式会社よりプロジェクト表彰「技術の部」を受賞。



遠赤外線反射天井



プロジェクト表彰



(億円)

| | 2020年 上期 | 2021年 上期 | 増減額 | 主な内訳 |
|----------------------|-------------|-------------|-------|---|
| 売上高 | 381.4 | 422.1 | +40.7 | |
| 営業利益 | 20.2 | 33.1 | +12.9 | |
| 営業外収益 | 2.1 | 3.2 | +1.1 | |
| 営業外費用 | 1.0 | 0.7 | △0.3 | |
| 経常利益 | 21.2 | 35.6 | +14.4 | |
| 特別利益 | 0.0 | 2.0 | +2.0 | (当期) 固定資産売却益1.8 |
| 特別損失 | 1.6 | 0.6 | △1.0 | (前期) 投資有価証券評価損0.5 (前期) 臨時休業による損失 0.3 |
| 税金等調整前 四半期純利益 | 19.6 | 37.0 | +17.4 | |
| 法人税等 | 5.7 | 10.7 | +5.0 | |
| 親会社株主に帰属する 四半期純利益 | 13.8 | 26.2 | +12.4 | |

02-4 連結貸借対照表



(億円)

| | 2020期末 | 2021年 第2四半期末 | 増減額 | 主な内訳 |
|----------|---------|-----------------|-------|-------------------------------|
| (資産の部) | | | | |
| 流動資産 | 431.8 | 444.3 | +12.4 | 現預金 +9.1 たな卸資産 +6.6 |
| 固定資産 | 394.6 | 389.1 | △5.5 | 有形固定資産 △7.9 |
| 資産合計 | 826.5 | 833.4 | +6.9 | |
| (負債の部) | | | | |
| 流動負債 | 274.9 | 262.6 | △12.3 | 借入金の減少 △13.2 |
| 固定負債 | 60.5 | 57.9 | △2.6 | |
| 負債合計 | 335.5 | 320.5 | △14.9 | |
| (純資産の部) | | | | |
| 純資産合計 | 490.9 | 512.8 | +21.9 | 利益剰余金 +19.1 有価証券評価差額金 +2.2 |
| (自己資本比率) | (59.4%) | (61.5%) | | |
| 借入金残高 | 56.3 | 43.0 | △13.2 | |

(億円)

| | 2020年 | 2020年 上期 | 2021年 上期 |
|----------------------|-------|-------------|-------------|
| 現金及び現金同等物 期首残高 | 76.0 | 76.0 | 91.7 |
| 営業活動による キャッシュ・フロー | 92.9 | 29.9 | 39.8 |
| 投資活動による キャッシュ・フロー | △43.5 | △23.7 | △10.5 |
| 財務活動による キャッシュ・フロー | △33.4 | △7.8 | △20.4 |
| 現金及び現金同等物 期末残高 | 91.7 | 74.2 | 100.9 |

▶ 営業キャッシュ・フロー

税金等調整前四半期純利益

+37.0億円

減価償却費 +21.3億円

法人税等の支払 △8.8億円

たな卸資産の増加 △6.5億円

▶ 投資キャッシュ・フロー

製造装置等の有形固定資産の
取得による資金の減少

▶ 財務キャッシュ・フロー

借入金の減少 △13.2億円

配当金の支払 △7.1億円

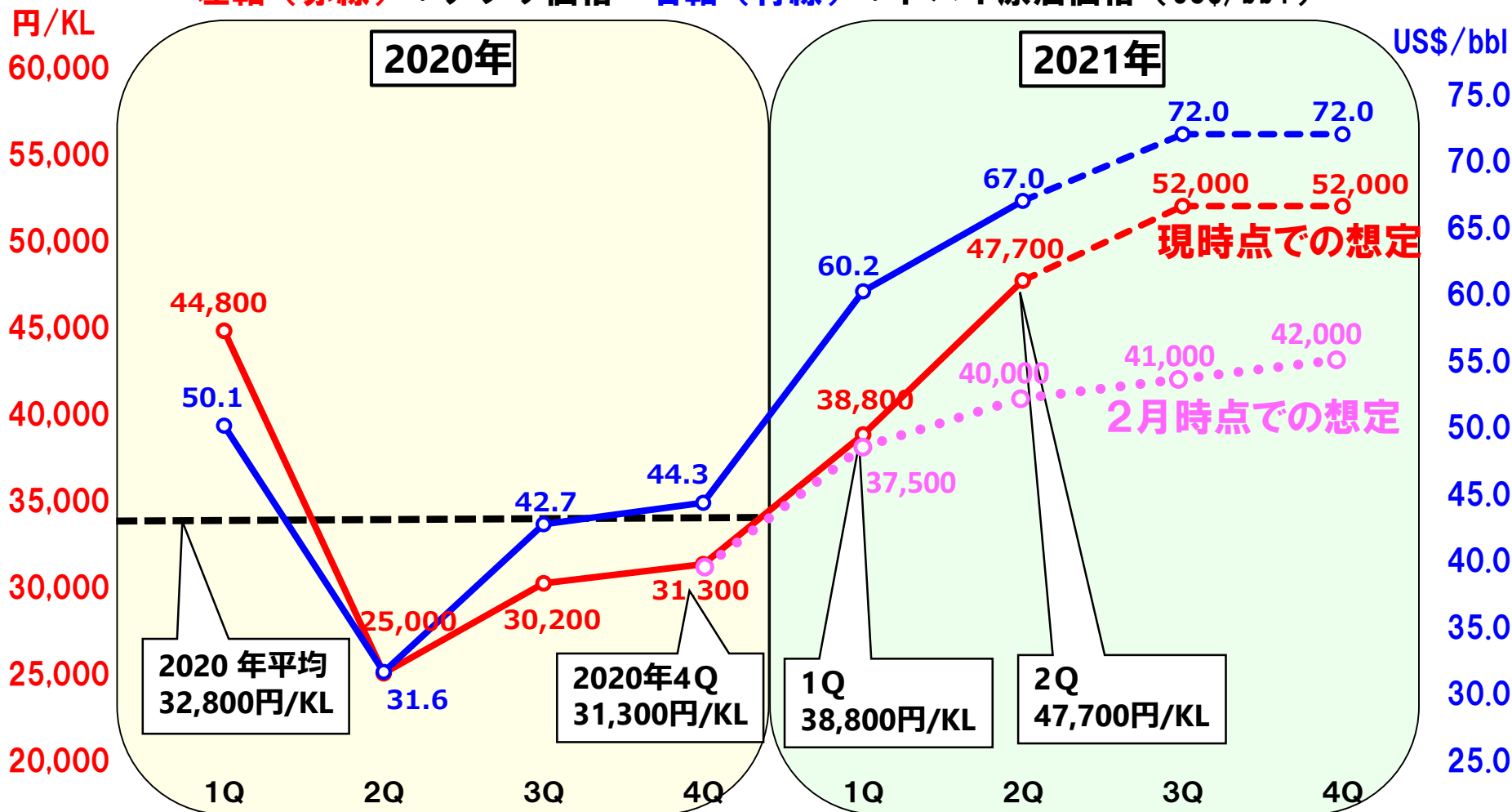
通期の業績予想

3

03-1 国産ナフサ価格及び原油価格の足下での動向



左軸（赤線）：ナフサ価格 右軸（青線）：ドバイ原油価格（US\$/bbl）

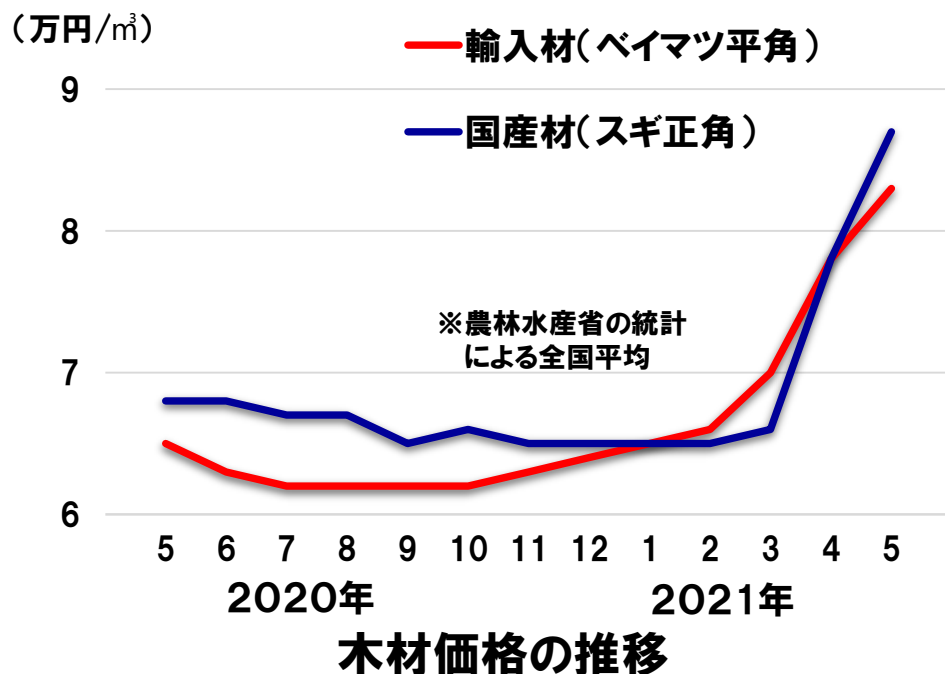


2020年 1Q:44,800円/KL(確報値) 2Q:25,000円/KL(確報値)
 3Q:30,200円/KL(確報値) 4Q:31,300円/KL(確報値)
 2021年 1Q:38,800円/KL(確報値) 2Q:47,700円/KL(速報値)
 3Q:52,000円/KL(予想値) 4Q:52,000円/KL(予想値)

※折れ線グラフ中の点線の値は
当社予想値です。

ウッドショック 木材価格が高騰

2020年末頃から、輸入材がひっ迫すると同時に値上がりし、代替材に国産材を求めたところ、国産材も高騰。



ウッドショックの発生経緯

新型コロナウイルス
感染拡大

中国 米国

早期に
経済回復

テレワークによる
一戸建てブーム

世界的に木材高騰

日本

輸入材が品薄に

国産材も高騰

住宅値上がり・工期遅れの懸念

木材価格は輸入材は最大3倍、国産材は2倍の高騰が見込まれる。

下期 市場、市況の想定

▶ 原油・ナフサ価格は上昇

国産ナフサ価格

2020年1Q:44,800円/KL、2Q:25,000円/KL、3Q:30,200円/KL、4Q:31,300円/KL

2021年1Q:38,800円/KL、**2Q:47,700円/KL、3Q:52,000円/KL、4Q:52,000円/KL**

(2021年3Q以降は当社予想価格)

▶ 当社関連市場

- ① 巣ごもり需要によるテイクアウト、EC購入(ネット購入)が引き続き好調で内食関連、消毒液・ハンドソープ等の衛生材料は堅調に推移する。
- ② 自動車関連、電器製品は東南アジアのロックダウンと半導体不足の影響で不透明。
- ③ ハイエンドのスマホ・テレビ向け電子材料は、引き続き好調に推移する。
- ④ 住宅・建材市場はウッドショックの影響で、木材がひっ迫しコスト上昇。

(億円)

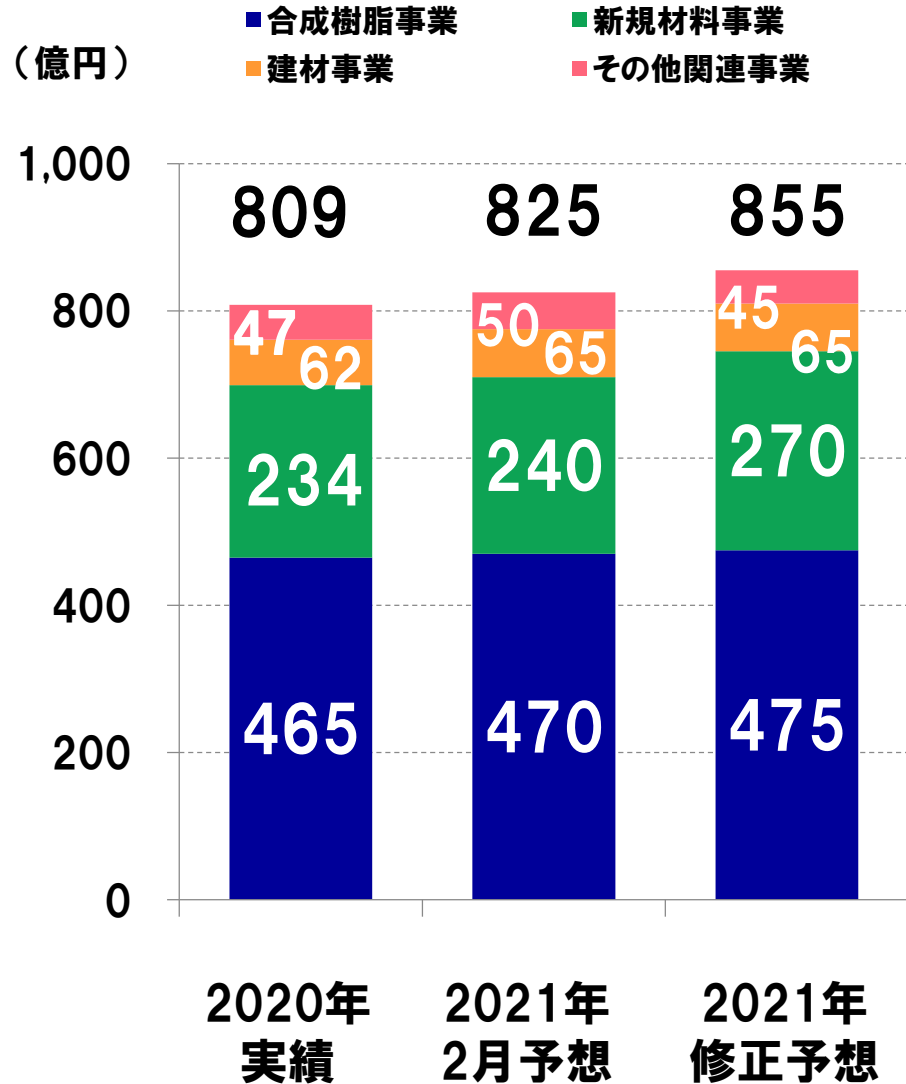
| | 2020年 通期実績 | 2021年 通期予想 2月公表 | 2021年 通期予想 修正 | 前年比 | 2月 公表比 |
|---------------------|---------------|-----------------------|---------------------|--------|-----------|
| 売上高 | 809.5 | 825.0 | 855.0 | +5.6% | +3.6% |
| 営業利益 | 42.8 | 41.0 | 50.0 | +16.7% | +24.4% |
| 経常利益 | 45.0 | 42.5 | 53.5 | +18.6% | +25.9% |
| 親会社株主に帰属する 当期純利益 | 28.6 | 28.0 | 32.0 | +11.7% | +14.3% |

- 2021年上期実績を反映し、原油価格のさらなる上昇による変動コストの増加等を踏まえ、2月に公表した通期の業績予想を修正。
- 引き続き新型コロナウイルス感染症の拡大、世界的な半導体不足、木材価格の高騰等による世界市場及び国内市場への影響が不透明。

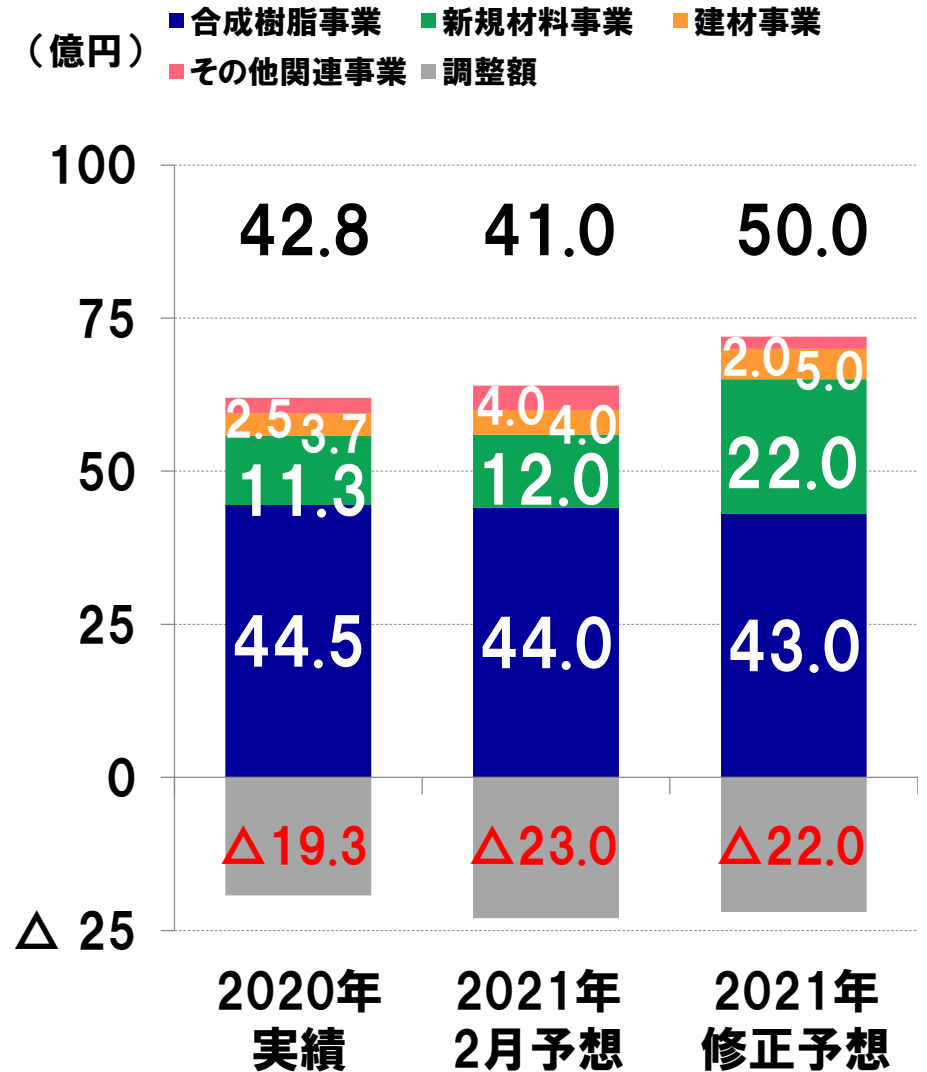
03-1 業績予想 セグメント別売上高、営業利益



【売上高】



【営業利益】



詰替え用パウチ製品の生産・販売量の拡大

ボトル容器から詰替え用パウチ袋にすることでプラスチックを減量化

2021年下期売上高 前年比+72%の見込み



スパウト溶着機

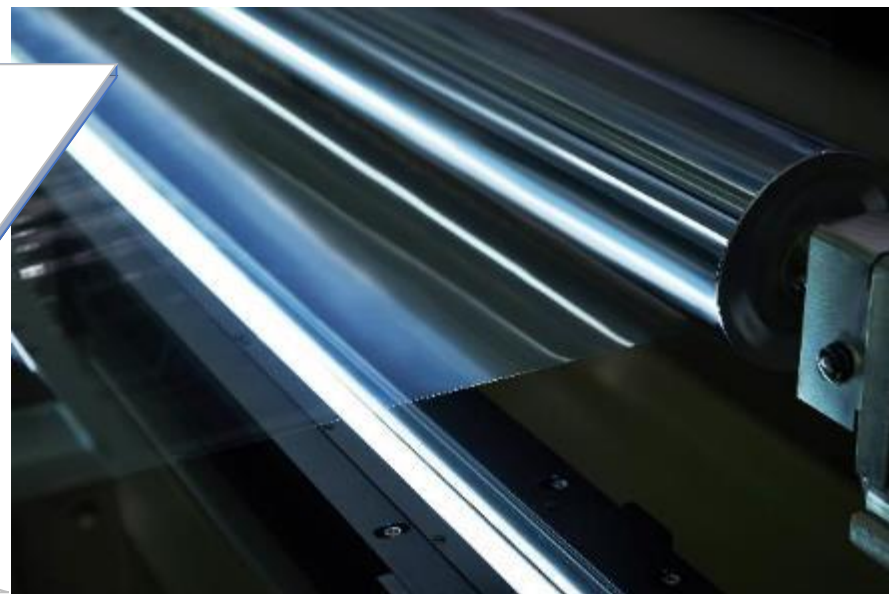
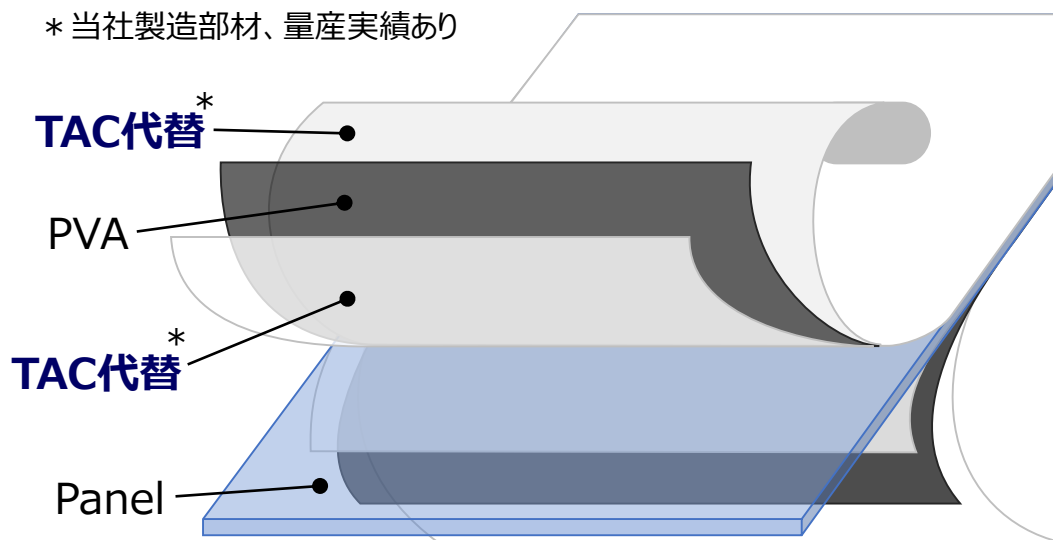
詰替え用パウチ袋の大容量化に対応するため広幅印刷機を導入。
⇒投資額4億円、2022年より稼働予定。

大型液晶パネル向け光学フィルム生産能力増強

テレビ画面の大型化と需要増に対応。

⇒設備の改造により、増産体制を確立。総投資額6.4億円。

現在、顧客認定手続き中、9月から販売開始予定。

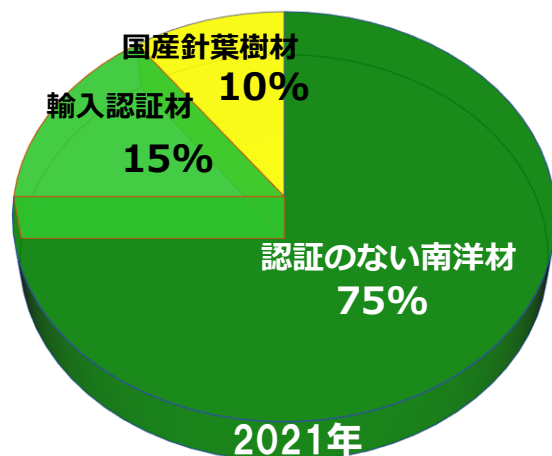


環境型 枠

持続可能な社会に貢献する
コンクリート型枠パネル

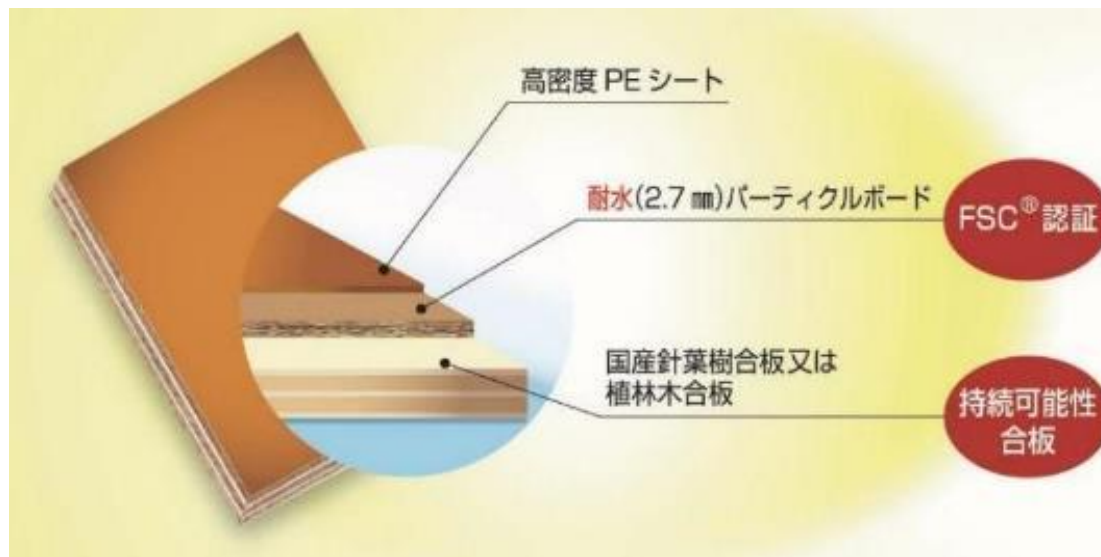
comori 木守

商標及び特許出願中



2021年

認証のない南洋材型枠の
代替が加速



【 特長 】

1. FSC認証の薄物PB開発利用
2. NETIS(新技術登録制度)登録 等

2021年上期から本格販売を開始

全長47mの複合設備を導入

工程を短縮、自動化により生産能力UP
現状、月産28,500枚

⇒2022年に月産100,000枚の量産体制
設備投資額 2億円



施工現場

【情報通信分野の開発】

情報通信

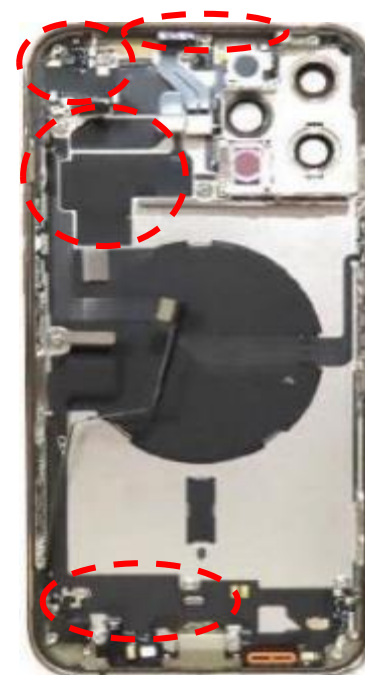
高周波低損失基板用フィルムの開発

- ・第5世代移動通信システム(5G)では、伝送損失が低く(低誘電率・低誘電正接)、高耐熱・高寸法安定性を有した高周波基板用フィルムが要求されている。

開発状況・目標

- ・2021年10月:専用の特製製膜試験設備導入完了予定
(設備投資額:3.5億円)
- ・2021年4Q :顧客へサンプル提供開始

高周波低損失基板用フィルム(当社開発品)



5Gスマホ アンテナモジュール

夢がある。技術がある。未来ができる。

【ライフサイエンス分野の開発】

ライフ
サイエンス

内視鏡用飛沫感染防御システム(Endobarrier)



香川大学と協働で製品開発
46病院で採用

- ・被覆フィルム空間内の陰圧化による室内への飛沫拡散の最小限化
- ・飛沫が付着する部材の使い捨て(ディスポーザブル化)による消毒作業等の省力化

バイオ医薬品、ワクチン培養用シングルユースバック



5L



200L



◆特徴

- ・バッグフィルムには無添加原料を使用
- ・クラス10,000のクリーンルーム内でバッグを加工
- ・アッセンブリー等のカスタム対応可能

2021年 開発中(顧客評価中)

第六次中期経営計画の位置づけ

グループビジョンの実現へ向けた第一ステップ 「新たな成長トレンド」への転換

グループビジョンの実現に向けた第一ステップとして土台を作り、
「新たな成長トレンド」への転換を推進する

Step
02

Step
01

【第六次中期経営計画の基本方針】

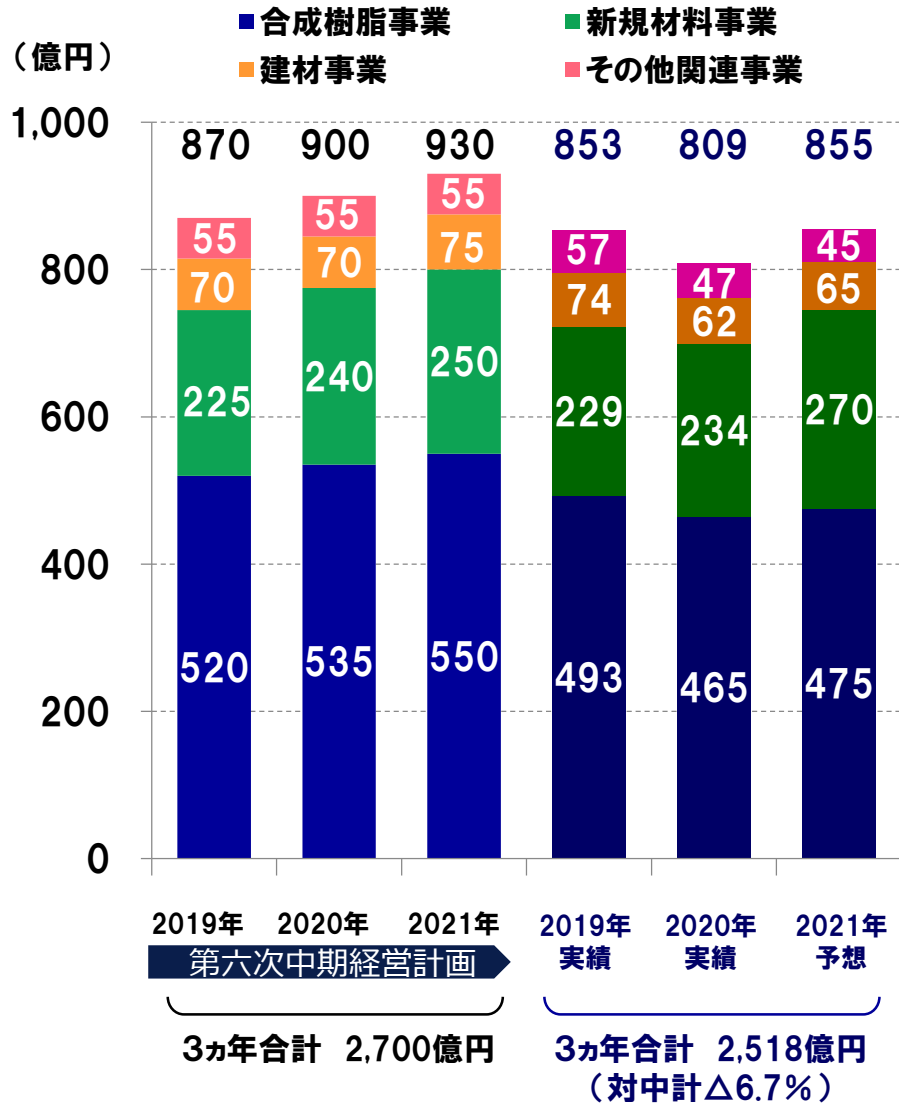
既存事業の再構築と成長分野への投資

【全社戦略】 徹底した『マーケットイン』で『稼ぐ力をつける』
《付加価値の増大》

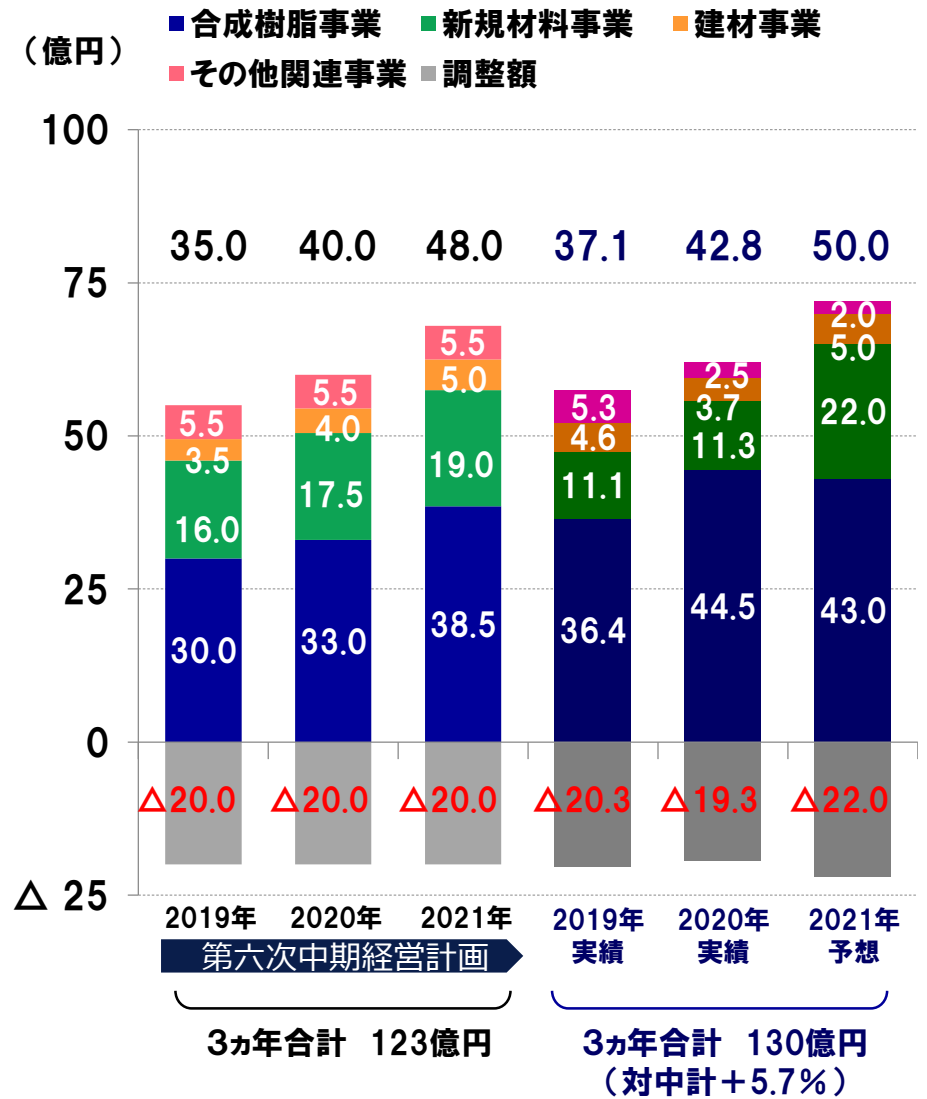
- 【重点取組み】
1. 先行大型投資案件の早期収穫
 2. 既存事業の基盤強化（事業構造改革の完遂）
 3. 成長市場・分野への投資と新たな成長エンジンの創出
 4. ESG



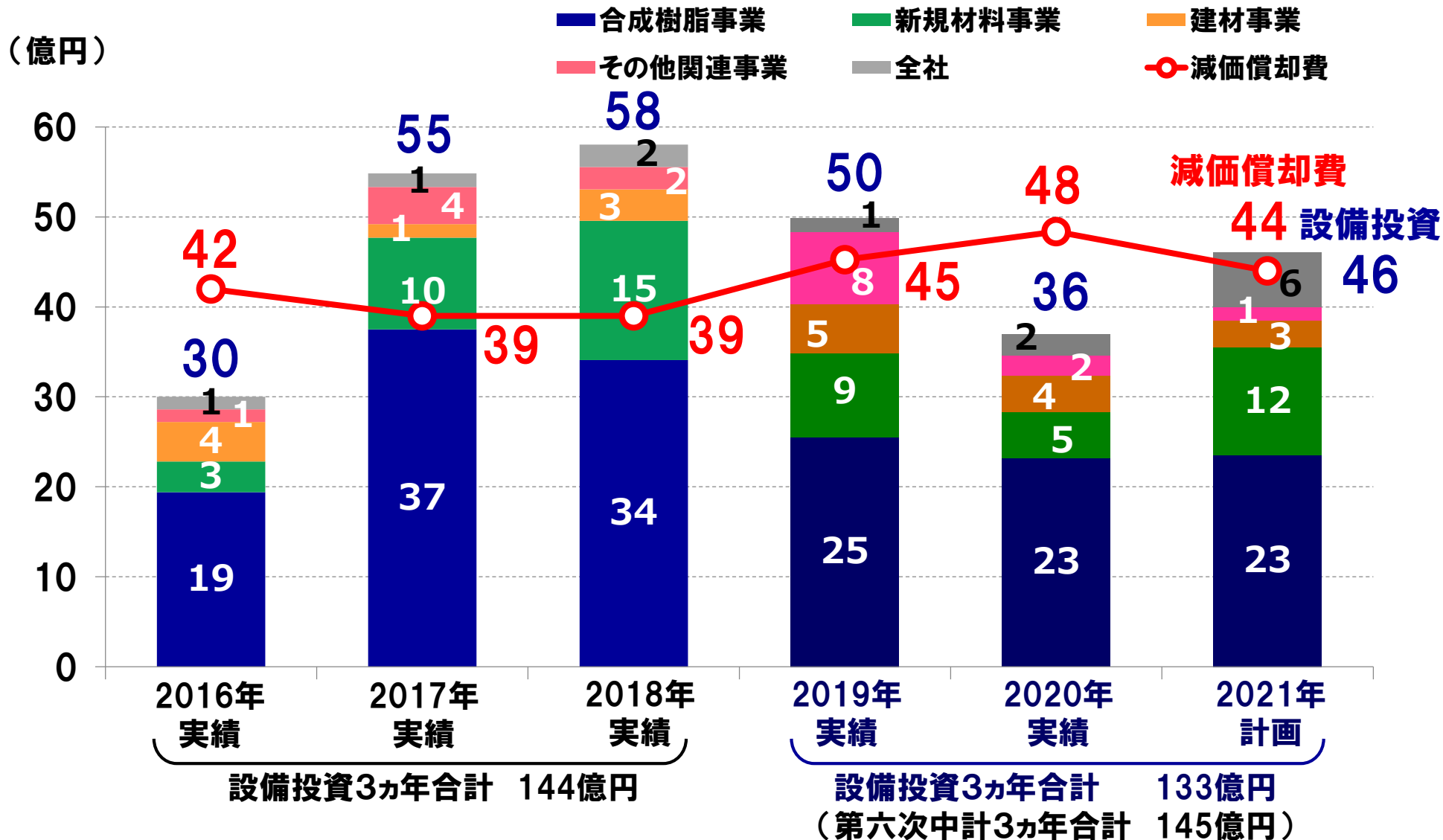
【売上高】



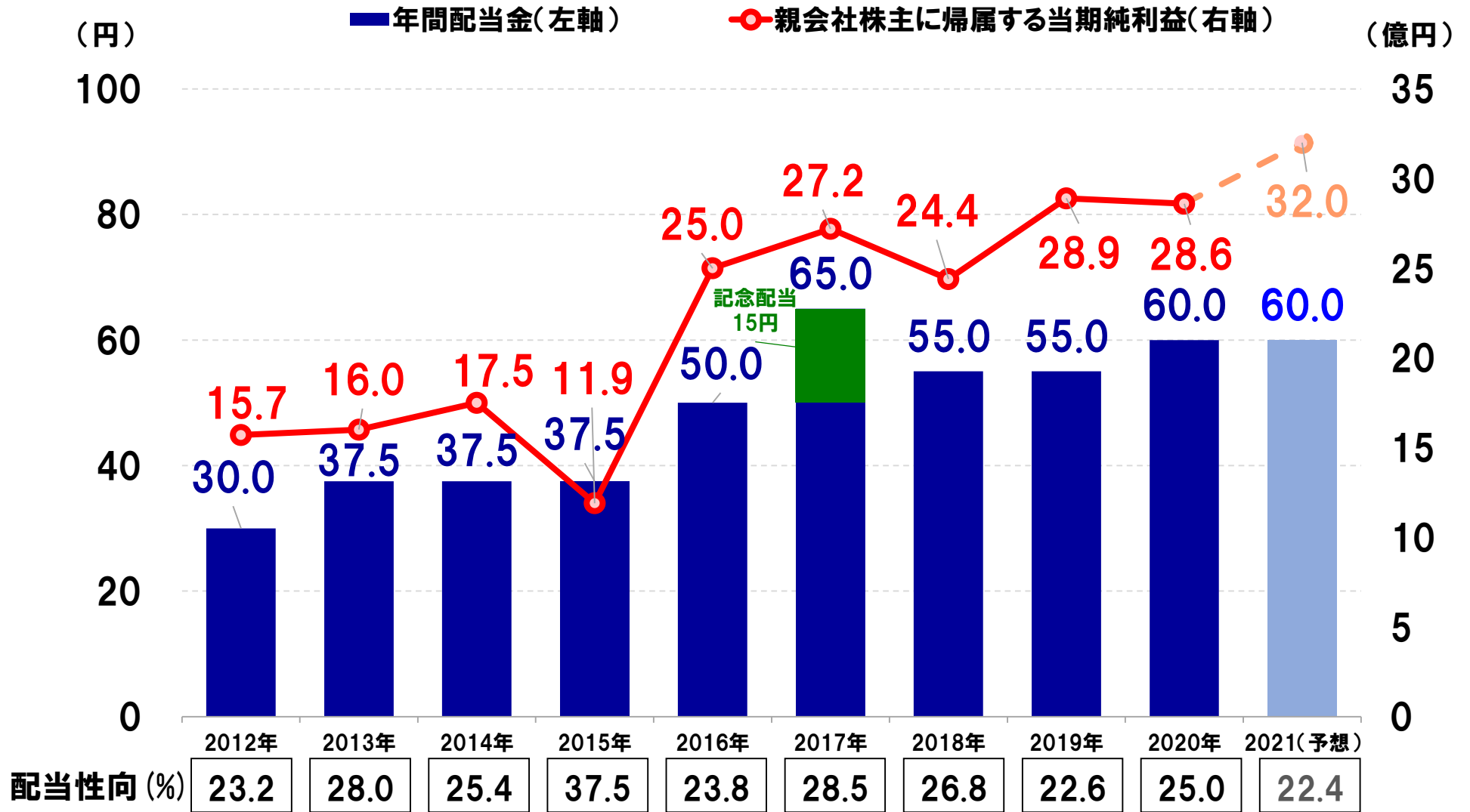
【営業利益】



設備投資(工事ベース)及び減価償却費



03-4 株主還元



サステナビリティの推進

4

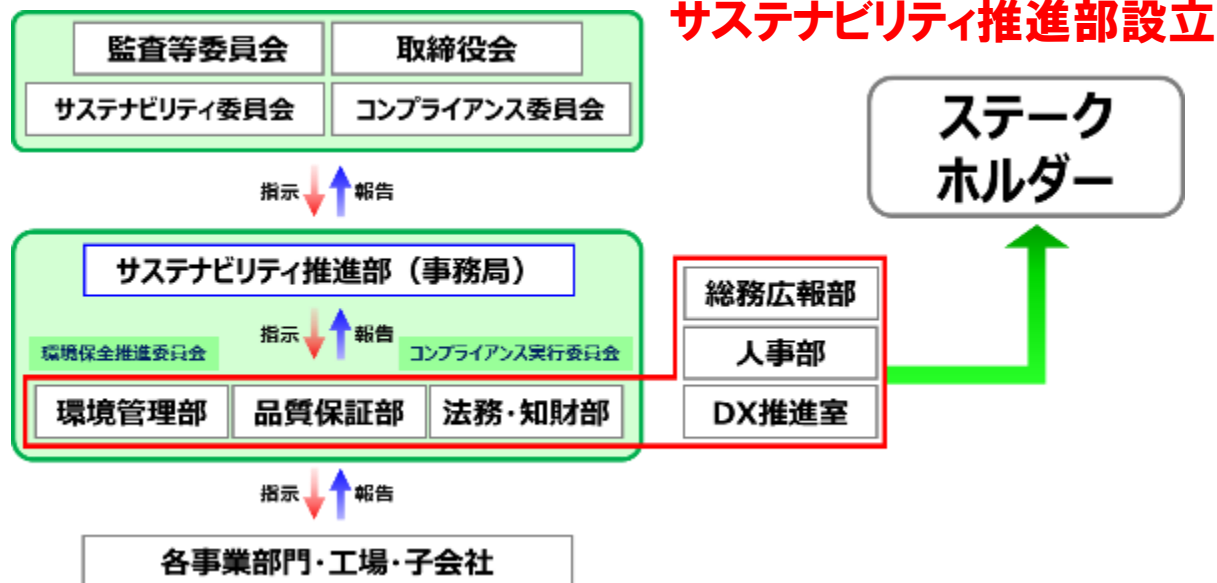
サステナビリティ基本方針

「社会から信頼される企業」であり続けるために、事業を通じて、社会との共生を念頭に企業の成長を目指す

サステナビリティ基本原則

1. 事業とESGの両立
2. 地球環境の保全
3. 法令順守・人権尊重と労働環境の配慮
4. 情報開示と対話

サステナビリティ推進体制





マテリアリティ

脱炭素経営(気候変動対策)の推進

資源循環対策の更なる推進

環境配慮型製品の創出と拡大

CSR調達の推進

DX推進による競争優位の確保

イノベーション創出に向けた研究開発

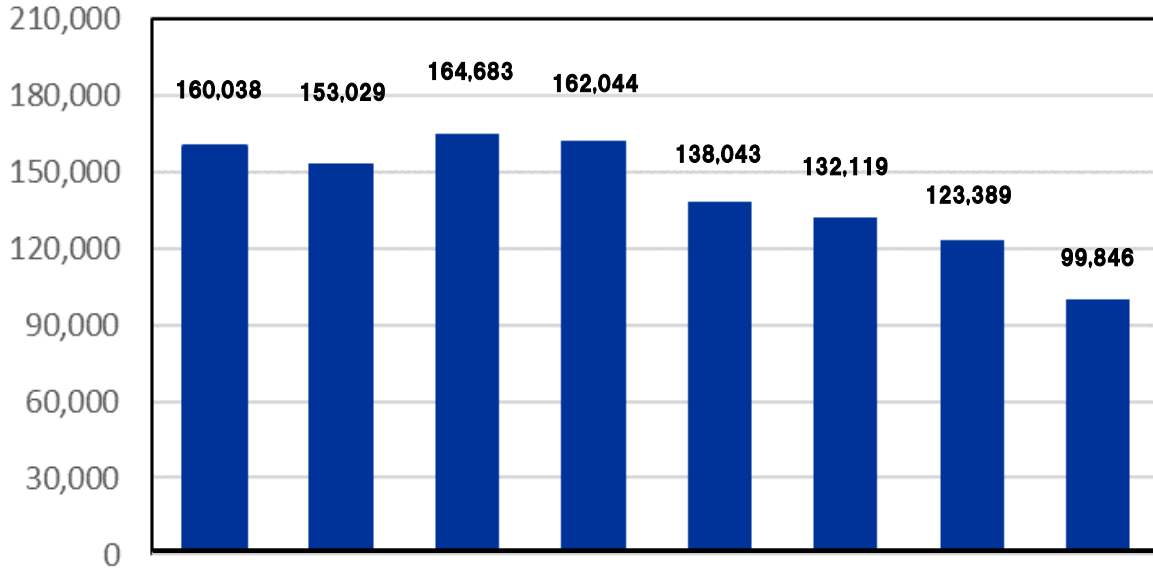
事業継続のための基盤





大倉工業グループCO₂排出量の削減状況
(Scope1+2+物流)

[CO₂-t]



2013年 2014年 2015年 2016年 2017年 2018年 2019年 2020年

全社的な省エネ活動の推進

省エネ設備への転換

- バイオマスボイラー設置(2008年)
- LED照明

生産性向上の推進

- 品質向上
- ロス率削減

さらなるCO₂削減へ ～再生可能エネルギーの導入～

☆積極的な設備投資の推進

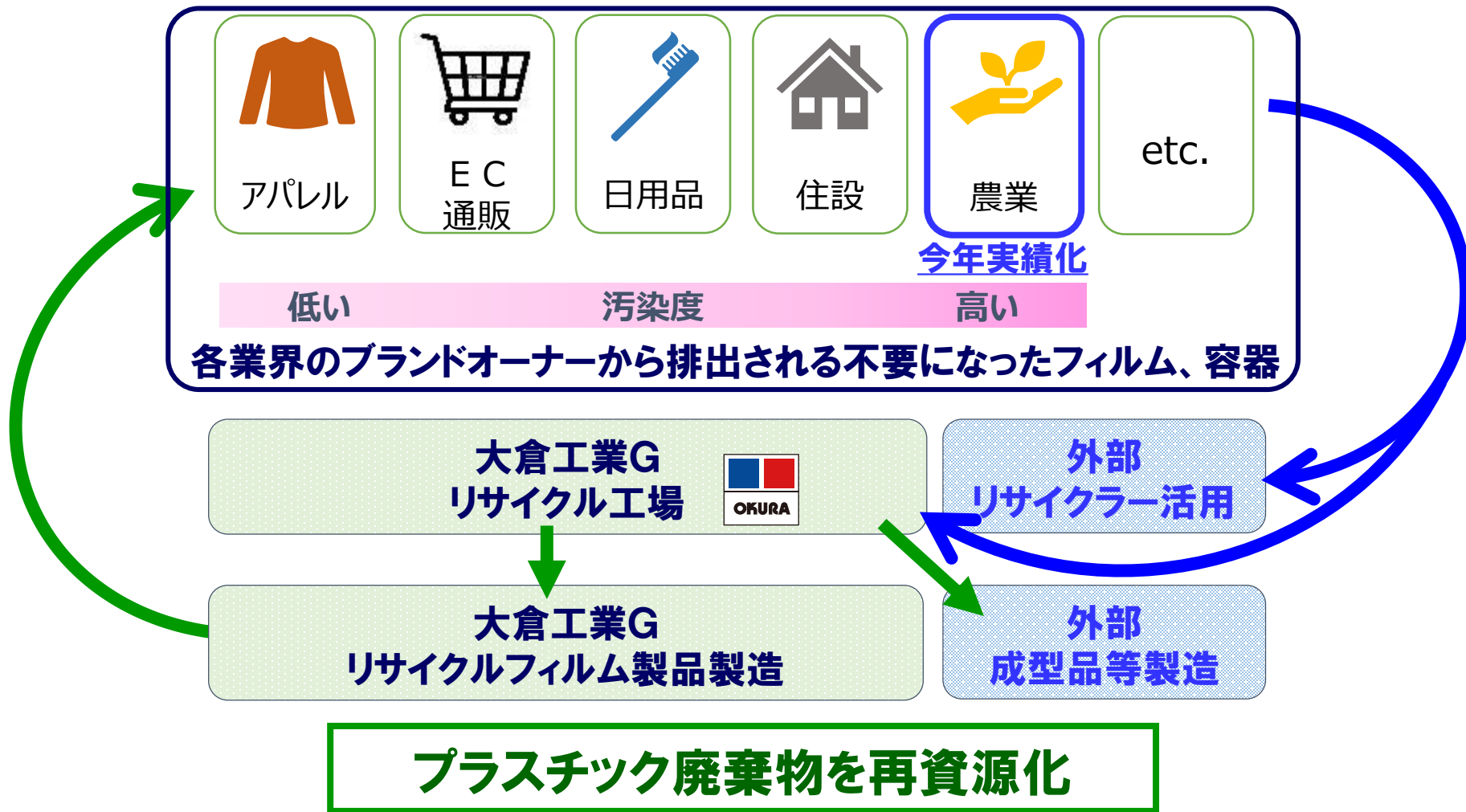
- 太陽光パネル設備の導入
- ヒートポンプ
- バイオマスボイラー増設

☆DX導入による生産性向上

- ペーパーレスによる業務効率化
- リモートワークの推進

サーキュラーエコノミーへの取組み

プラスチック資源循環推進プロジェクトの発足



ご清聴ありがとうございました

参考資料

5



○マテリアリティに基づく活動テーマ

| マテリアリティ | 活動テーマ |
|-------------------|-------------------------------|
| 脱炭素経営（気候変動対策）の推進 | 自社（工場、およびオフィス）からのCO2排出量削減 |
| | 物流（出荷）の効率化とCO2排出量削減 |
| 資源循環対策の更なる推進 | 工場廃棄物の大幅削減推進 |
| | 海洋プラスチックの削減 |
| | 使用後の廃資材等の回収、再資源化の促進 |
| 環境配慮型製品の創出と拡大 | 環境配慮製品の創出の仕組み化と中長期目標設定 |
| | 機能性に優れた製品の開発および販売 |
| CSR調達の推進 | 人権等に配慮した原材料調達の仕組み構築と運用 |
| | 環境に配慮した原材料調達（グリーン調達）の仕組み構築と運用 |
| DX推進による競争優位性の確保 | 新しいデジタル技術の導入による生産性向上と業務改革 |
| | 営業活動およびマーケティングの高度化 |
| | より高品質で安全性の高い製品の追求 |
| イノベーション創出に向けた研究開発 | 新規事業の創出につながるマーケティングの強化 |
| | オープンイノベーションの積極的な活用 |

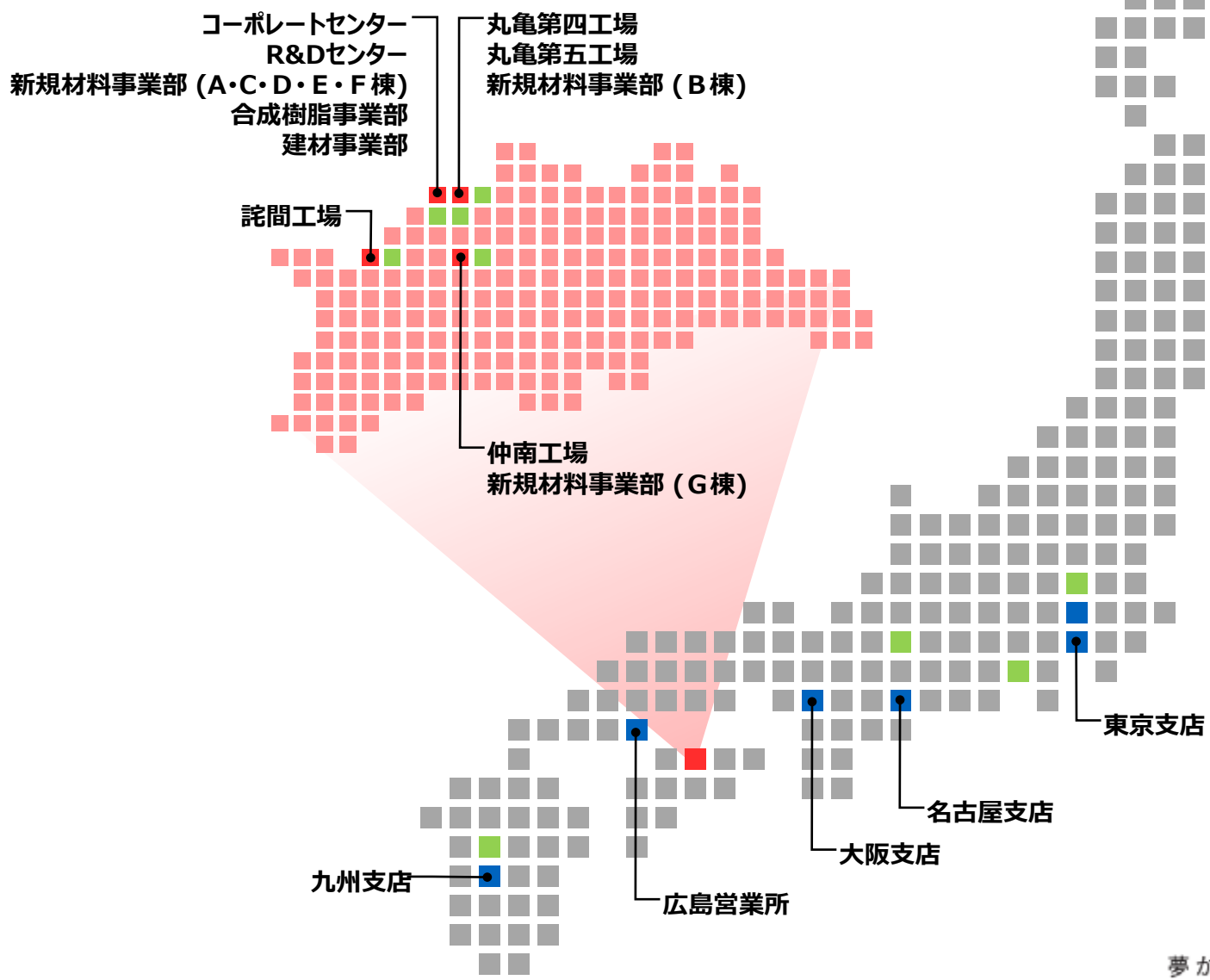


○事業継続のための基盤に基づく活動テーマ

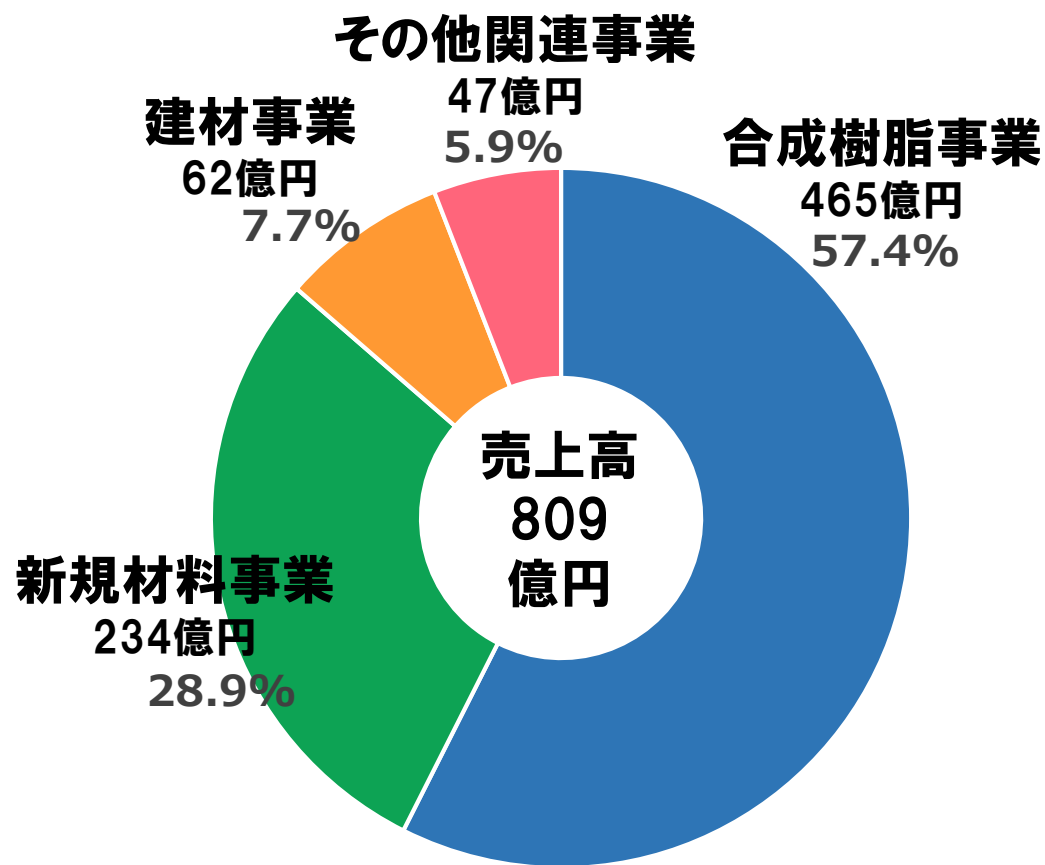
| 事業基盤 | 活動テーマ |
|----------------|-------------------------------|
| 汚染防止の徹底 | 有害化学物質の適切な管理 |
| | 水資源の使用量削減と適切な管理 |
| 働きがいのある職場環境の整備 | ダイバーシティ経営の実現 |
| | 働き方改革による生産性向上とワークライフバランスの実現 |
| | 健康経営の推進 |
| | やりがいのある人事評価制度構築と人財育成制度の充実 |
| | 労働安全衛生の強化 |
| 地域社会との共生 | 社会奉仕活動、地域環境保護活動の推進 |
| | 地域課題解決ビジネス、地域活性化ビジネスへの参画 |
| | 地域資源の積極的な利用 |
| 企業の信頼性・透明性の向上 | ESG情報の積極的な開示 |
| | ステークホルダーとの対話促進 |
| | 内部統制・コンプライアンス体制の整備 |
| | リスクの洗い出しとBCP（事業継続計画）のブラッシュアップ |



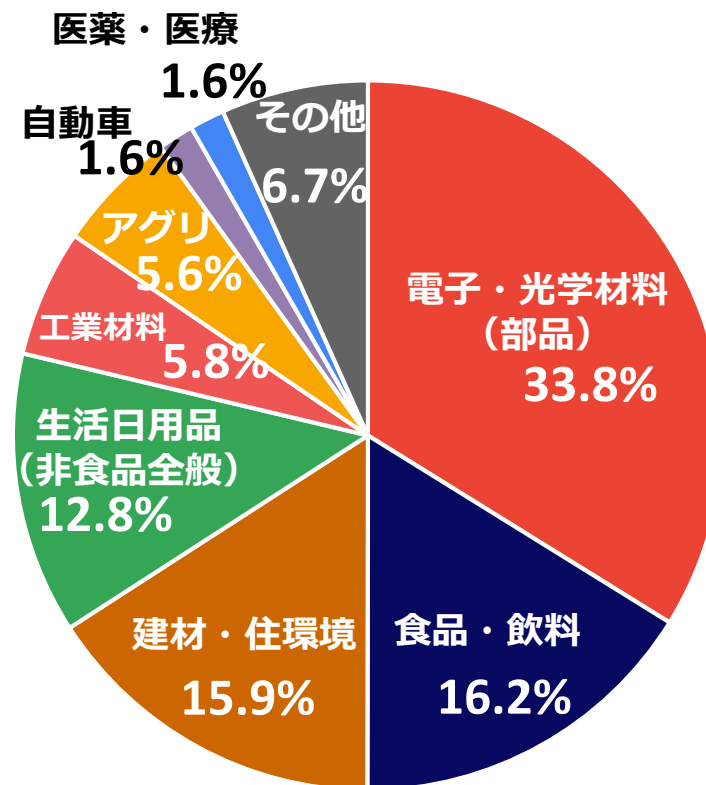
05-2 当社の事業所とグループ会社



- グループ会社**
- (株)関西オークラ(滋賀県)
 - (株)関東オークラ(静岡県)
 - (株)九州オークラ(熊本県)
 - (株)埼玉オークラ(埼玉県)
 - (株)オークラプロダクツ
 - オークラホテル(株)
 - (株)オークラプレカットシステム
 - オークラ情報システム(株)
 - (株)オークラハウス
 - (株)ユニオン・グラフィア
 - (株)オークラパック香川
 - (株)カントウ(埼玉県)
 - 無錫大倉包装材料有限公司(中国)
 - 尤妮佳包装材料(天津)有限公司(中国)
 - 大倉産業(株)
 - オー・エル・エス(有)
 - 大友化成(株)
 - 大宝(株)
 - 中讃ケーブルビジョン(株)
- ※(香川県)所在地省略



事業セグメント別売上高比率
(2020年)



業界・用途別売上高比率
(2020年)

合成樹脂事業

パッケージングBU

シュリンクフィルム

中間物流用の重量物包装や集積包装、食品を直接包装するものなど、オリジナルのデザインや形状を生かしたまま、商品をより美しく安全に包み込む。用途に応じた独自の機能を付与すると共に、印刷などの二次加工や包装システムなどを提案。

軟包材

ナイロン・ポリエステル・ポリエチレンなどのさまざまなフィルムを貼り合わせることにより、それぞれの特性を活かした機能的な複合フィルムのこと。冷凍食品の包装やIC基盤の保護用フィルム、詰め替え用のスパウト付きラミネート袋など、身近なところから最先端の電子材料にまで幅広く提供。

リキッドパック

液体包装容器の総称であり、段ボール箱内で使用されるバッグインボックスとドラム缶内で使用されるバッグインドラムに大別される。醤油などの食料品や化学薬品などの液体輸送の合理化に寄与。

【用途例】

乳酸菌飲料集積用、カップ麺、酒パック等の包装フィルム、食品トレイ包装用バリフィルム



【用途例】

食品、洗剤、柔軟剤、シャンプー、ペットフード、お菓子等



【用途例】

ミネラルウォーター、油脂加工製品、調味液（醤油、ソース等）、液体肥料、液体洗剤、接着剤



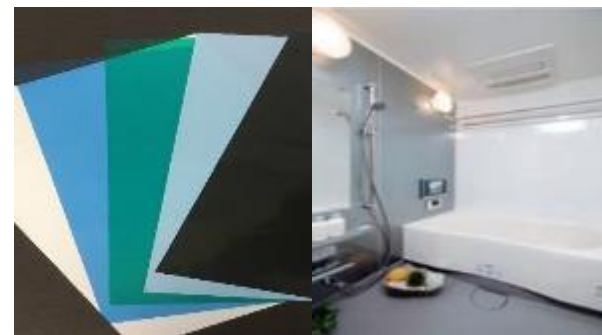
合成樹脂事業

産業機能材BU

電子・エネルギー・住宅・メディカルなど様々な分野の主材や基材を提供。液晶パネルに使用される位相差フィルムの保護用フィルムなど、独自の樹脂ブレンドノウハウ・高い製膜技術・徹底した品質管理で最適なソリューションを提供。

【用途例】

光学、電子、電気製品、自動車、ユニットバス壁面、ドア・クローゼット・床などの建装材など



一般包材BU

規格袋・ごみ袋・包装/梱包荷材など、各種既製品はもとより、食品・衛生材料・家庭紙・日用雑貨・産業資材・医薬・洗剤・化粧品・印刷出版物など幅広い分野で製品の包装に使われているポリエチレンフィルムを提供。

【用途例】

規格袋、日用品、食品用パッケージフィルム、衛生材料用フィルム



アグリマテリアルBU

農業用の機能性フィルムであり、全国の農家から親しまれている製品。農作業の省力化と作物の収穫増のために、保温・地温上昇抑制・害虫忌避・抗菌・生分解といったさまざまな機能を持つ製品をラインアップ。

【用途例】

農業用フィルム、肥料の保存



新規材料事業

機能材料BU

TPEチーム(ウレタンフィルム)

機械的・化学的・電氣的等著しい機能を持つウレタンやフッ素系等の単層、多層フィルムをメディカル分野や自動車部品メーカー等に提供。

【用途例】
創傷用被覆保護ドレッシング
プリント接着用シート
印刷転写用シート
ヘッドレスト
ペイントプロテクションフィルム



BLTチーム(シームレスベルト・樹脂被覆ローラ)

プリンター等の画像情報機器に必要な電子機能を持つベルトやチューブをプリンター・複写機メーカーに提供。

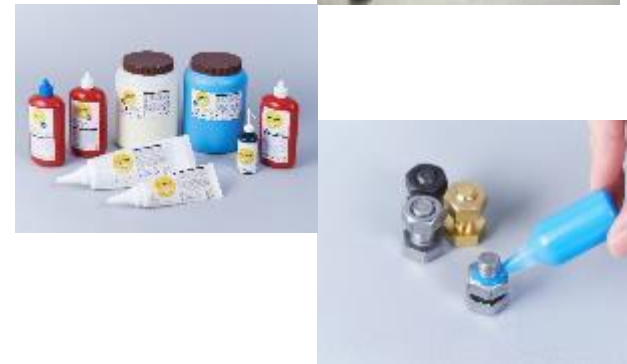
【製品種類】
LBP用中間転写ベルト
クリーニングローラ
転写ローラ



ADHチーム(アクリル接着剤)

3タイプの硬化機構の無溶剤型アクリル接着剤を車輻・電気・鋼板・鋳型模型からゴルフクラブまで幅広い市場に提供。

【用途例】
モーターマグネット(電気自動車部品)
塗装鋼板
ゴルフクラブ
鋳型模型

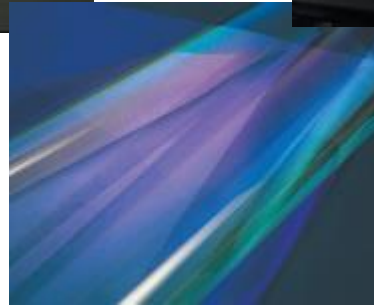
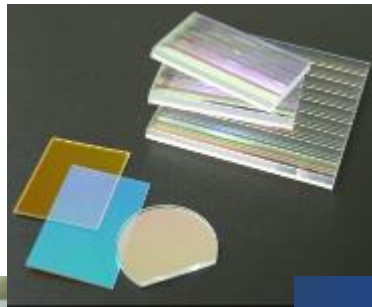
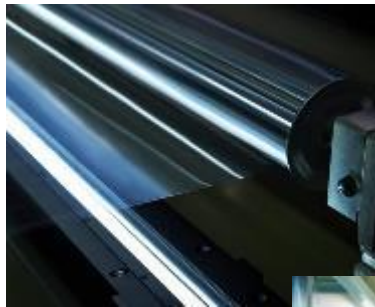


新規材料事業

電子材料BU(加工)、光学材料BU(製膜延伸)

MNTチーム、KEチーム、PLMチーム、CTチーム、MCSTRチーム

大型から中小型サイズの液晶ディスプレイを始め、タッチパネルや液晶プロジェクター等、電子表示体のキーマテリアルとなる各種光学機能性フィルムをFPDメーカー等に提供。



建材事業

パーティクルボード(素板)

木質廃材を細かくしたチップに接着剤などを混ぜた原料を高温でプレスし固めたパーティクルボード。
木質廃材を焼却せず製品としてリサイクルしており、二酸化炭素の排出を抑制し、地球温暖化の防止に寄与。

【用途例】
キッチン、家具
フロア
構造用耐力面材



住環境

当社のパーティクルボードなどにシートを貼った製品で、住設機器等の部材提供及び棚板、フロア等として住宅メーカー等に提供。

【用途例】
フロア、棚板等のパーティクルボード二次加工品



その他関連事業

ホテル事業：オークラホテル株式会社

香川県丸亀市に本社があり、オークラホテル丸亀を営業。オークラホテル丸亀は瀬戸内海を一望する最高のロケーションでビジネスや観光の拠点に便利な立地。



情報処理事業：オークラ情報システム株式会社

香川県丸亀市に本社があり、ソフトウェア開発やコンピュータシステムの運用、保守パッケージソフトの製造・販売、コンピュータ機器販売を手掛けている。ニーズを拾い上げ、形にするまでトータルでサポート。



住宅事業：株式会社オークラハウス

香川県丸亀市に本社があり、県内の新築、リフォームを手掛る。エネルギー収支ゼロを目指したゼロ・エネルギー住宅や国土交通省が定めた耐震性能最高等級「耐震等級3」相当で建てるなど、快適に安心して長く住んでもらう住宅を提供。



プレカット事業：株式会社オークラプレカットシステム

香川県丸亀市に本社があり、木造建屋宅用構造材加工（プレカット加工）および木造建屋用資材（建築金物・基礎素材等）の仕入販売を行っている。よりよい家を作るために、数々の建築データを基に、安全に現場での作業を迅速に行えるプレカットされた木材を、日々作り続けている。



材料設計開発

ポリマーブレンドアロイ
有機無機ハイブリッド
重合、多層化



加工技術

製膜、延伸、塗工、印刷、
貼合、加圧、抽出、+ α



用途・形態・使用条件にマッチした材料と
製造プロセスでお客様のご要求に対応

さまざまな分野・業界への 製品対応力

様々な業界のお客様とのお取引により
多様化するニーズにマッチした製品を
高い技術力を生かし供給し続けています。



夢がある。技術がある。未来ができる。

創業の意義 【創業者 松田 正二】

高松、倉敷飛行機勤務時に終戦を迎え、80数名の従業員の生活を守ることと、戦後社会の復興と人々の役立つ為に事業を起こす

世の為 = 社会に役立つ
人の為 = 従業員を守り、人々に役立つ
 復興に不可欠な住宅とその材料販売で創業



高松製材所の風景

| | |
|------|----------------------------|
| 1945 | 岡内製材所として製材・小型の復興住宅を販売 |
| 1947 | 四国住宅株式会社を設立 ⇒ 創立記念日 |
| 1949 | 高松(東浜町)にて木材市売りを開始 |
| 1951 | 四国実業株式会社に商号変更 倉敷ビニロンを発売 |
| 1952 | 丸亀(城西町)にて木材市売りを開始 |
| 1955 | ポリエチレン加工に着目し製造装置を購入 |



木材市売の四国住宅の頃

国内に原料メーカーが無い中で、ポリエチレンフィルムの将来性に着目

当該事業の開始を機に社名(商号)変更

長年勤務しお世話になった倉敷紡績と大原社長から一字ずつ戴く

倉敷紡績 社長

大原 総一郎氏

倉 敷紡績株式会社



高松本社ビル

1955 【全体】大倉工業株式会社に商号変更

1956 【合成】ポリエチレンフィルム本格生産(港町)

1959 【合成】東京工場操業開始
その後、大阪工場、福岡工場を立て続けに建設

1962 【全体】大阪証券取引所第2部市場に株式上場
【合成】本社工場操業開始
【建材】ラワン合板事業に進出

1964 【合成】岡山工場、熊本工場、静岡工場を建設
【建材】プリント合板製造開始

1967 【合成】埼玉工場操業開始



本社工場構内

- 1968 【建材】詫間工場操業開始、【他】冷凍倉庫事業開始
- 1970 【全体】東京・大阪両証券取引所第1部市場に株式上場
- 1971 【建材】パーティクルボード製造開始
- 1972 【全体】本社を香川県丸亀市に移転
- 1973 【他】四国初のマンション(大倉マンション)建設
「オークラホテル高松」をオープン
- 1977 【合成】丸亀第四工場操業開始
- 1987 新規材料事業部を新設
- 1988 【他】「オークラホテル丸亀」がオープン
- 1992 オークラ情報システム(株)設立
【合成】製版会社(株)ユニオングラフィア設立
丸亀第五工場操業開始
- 1995 中国に「無錫大倉包装材料有限公司」を設立
【合成】仲南工場操業開始
- 1996 【建材】詫間工場で爆発事故



オークラホテル丸亀



新規材料事業部(A棟)



液晶ディスプレイ用光学フィルムの事業拡大

| | |
|------|---|
| 2000 | <p>【新規】 光学フィルム工場C棟創業開始 偏光板事業「オー・エル・エス(有)」を設立</p> |
| 2001 | <p>【合成】 福岡・熊本の2工場を統合し九州工場操業開始</p> |
| 2004 | <p>【新規】 光学フィルム工場D棟創業開始 【合成】 「(株)九州オークラ」を設立</p> |
| 2006 | <p>【合成】 「(株)OKプロダクツ岡山」、 「(株)オークラプロダクツ香川」を設立</p> |
| 2007 | <p>R&Dセンターを新設 【合成】 「(株)関西オークラ」、「(株)関東オークラ」を設立</p> |
| 2009 | <p>【他】 「(株)オークラプレカットシステム」を設立</p> |



新規材料事業部(C棟)



新規材料事業部(D棟)

経営品質を高め、技術優位な企業へ

経営基盤を強化し、要素技術を進化させる

| | |
|------|---|
| 2012 | 【合成】「尤妮佳包装材料（天津）有限公司」を設立 【建材】パーティクルボードJIS認証取り消し |
| 2013 | 第四次中期経営計画スタート JIS認定再取得 |
| 2014 | 【新規】仲南G棟操業開始 オー・エル・エス新ライン増設 【合成】関西オークラ新工場(第3工場)操業開始 |
| 2015 | 【建材】「パワーホーム香川(株)」を設立 |
| 2016 | 第五次中期経営計画スタート 監査等委員会設置会社に移行 |
| 2017 | 会社創立70周年 |
| 2018 | 代表取締役交代 |



新規材料事業部(仲南G棟)
10.5世代パネル対応の
最新工場



関西オークラ(第3工場)

本資料に関する注意事項

本資料に掲載されている業績予想・事業計画は、当社が現時点で入手可能な情報及び種々の前提に基づき作成したものであり、実際の業績等の結果は、今後生ずる様々な要因によって、予想・計画とは異なる場合がございます。

本資料は、情報提供のみを目的としたものであり、当社が発行する有価証券の売買を勧誘することを目的としたものではありません。



OKURA

2021年12月期 第2四半期決算説明資料



大倉工業株式会社

2021年8月25日

END